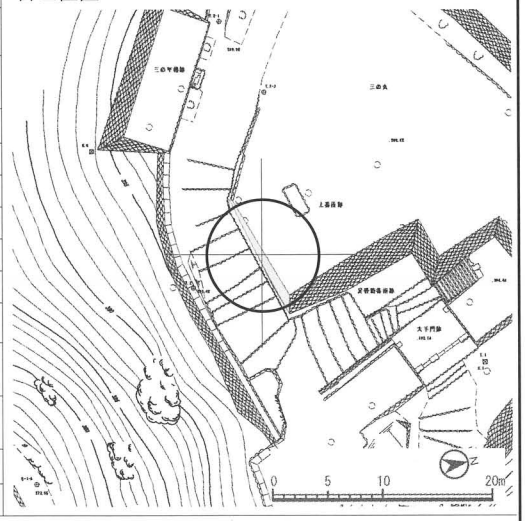
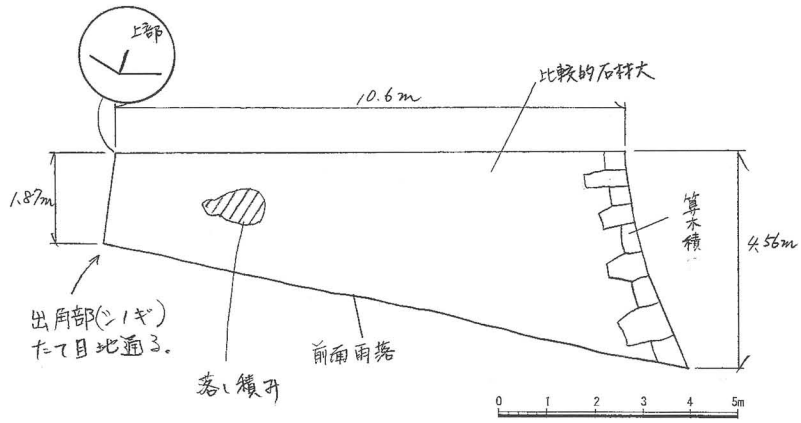
石垣番号	km_034	地区名	小松山城跡	曲輪名	三の丸
石垣部位	郭				
角の形状	右	出角			
	左	出角・シノギ(低)			
石垣延長	天端 10.6		下端 12.5		
石垣高さ	左 1.87		右 4.56		
	最高 4.56		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.14		右 0.28		
	最高地点 0.28				
地盤状況	平坦面・雨落				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積一部落し積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	崩落の危険なし。落し積あり。算木積（高）。シノギ（低）				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況

略図

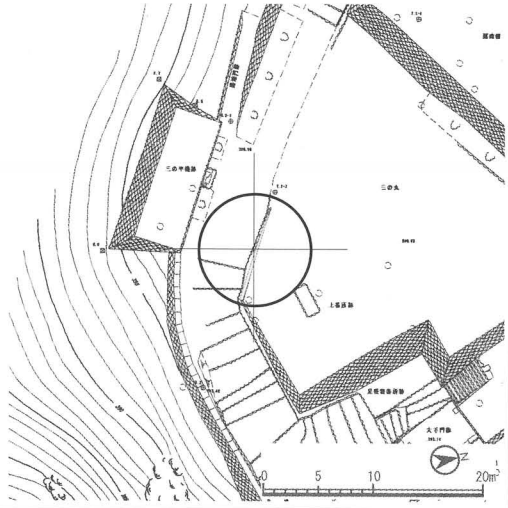


左変曲点

右変曲点

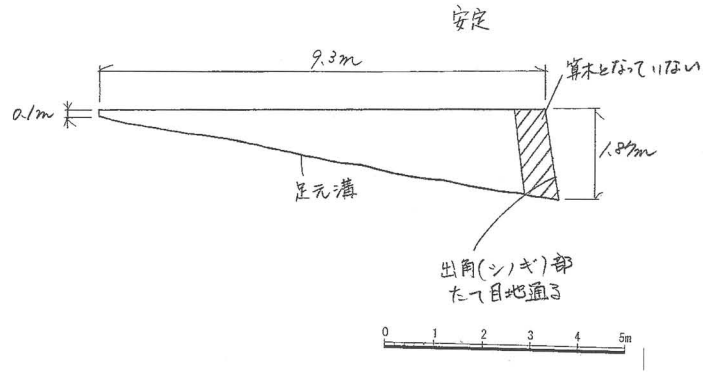
石垣番号	km_035	地区名	小松山城跡	曲輪名	三の丸
石垣部位	郭				
角の形状	右	出角・シノギ(低)			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 9.30		下端 9.50		
石垣高さ	左 0.10		右 1.87		
	最高 1.87		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.00		右 0.14		
	最高地点 0.14				
地盤状況	雨落				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	崩落の危険なし。シノギ（低）				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



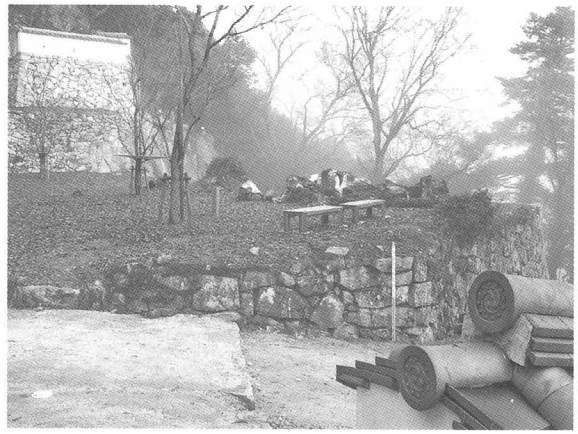
破損の要因と破損状況

略 図



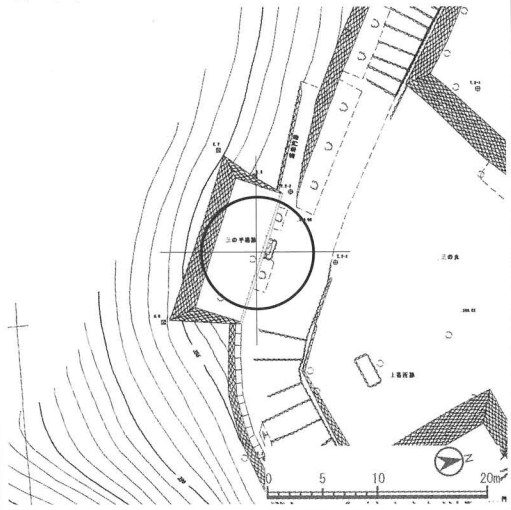
左変曲点

右変曲点

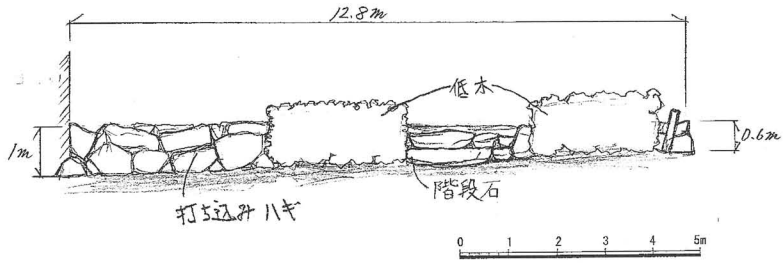


石垣番号	km_036	地区名	小松山城跡	曲輪名	三の丸
石垣部位	郭				
角の形状	右	出角			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 12.80		下端 13.00		
石垣高さ	左 1.00		右 0.60		
	最高 1.00		最高点位置 左		
石垣勾配	左 0.10		右 0.10		
	最高地点 0.10				
地盤状況	土				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	崩落の危険なし。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況	略図

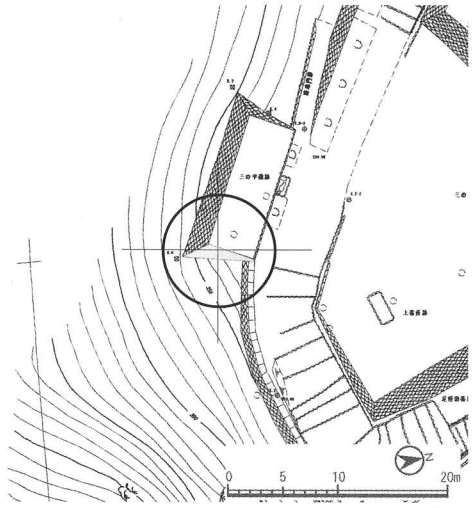


左変曲点

右変曲点

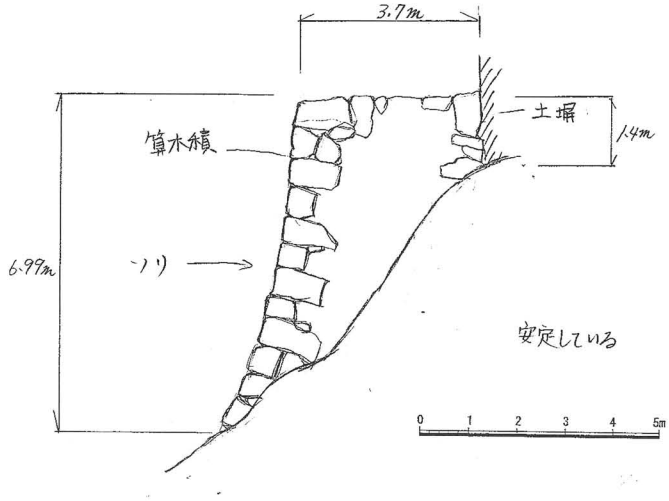
石垣番号	km_037	地区名	小松山城跡	曲輪名	三の丸
石垣部位	櫓台				
角の形状	右	入角・土塀			
	左	出角			
石垣延長	天端 3.70		下端 7.60		
石垣高さ	左 6.99		右 1.40		
	最高 6.99		最高点位置 左		
石垣勾配	左 0.30		右 0.20		
	最高地点 0.30				
地盤状況	土・斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	崩落の危険なし。ソリあり。算木積（高）				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

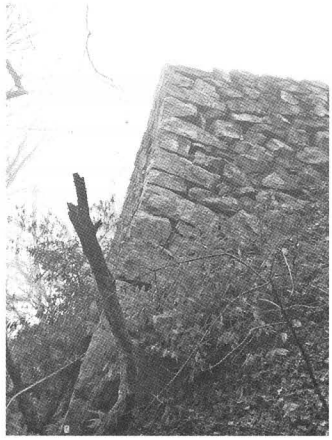


破損の要因と破損状況

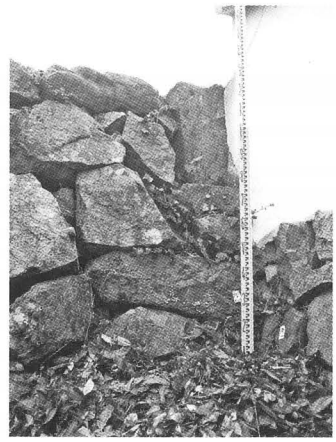
略図



左変曲点

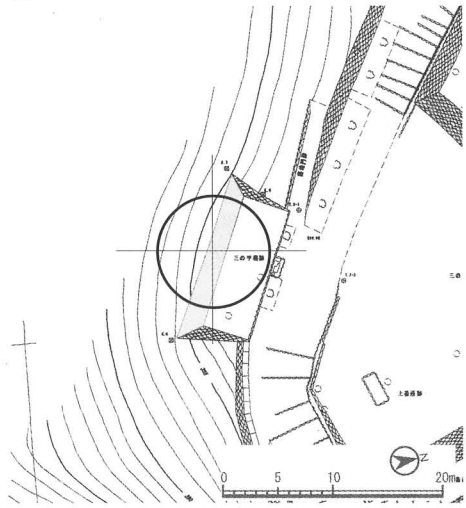


右変曲点

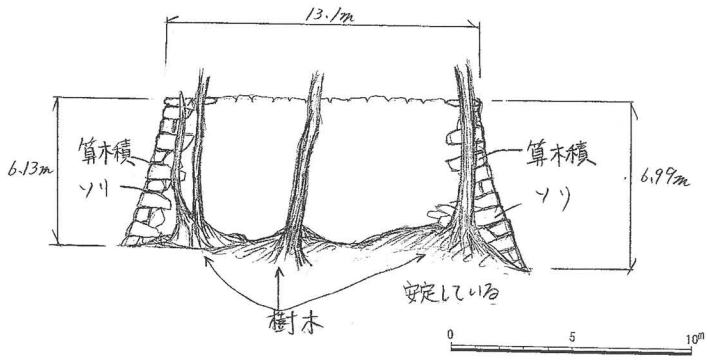


石垣番号	km_038	地区名	小松山城跡	曲輪名	三の丸
石垣部位	櫓台				
角の形状	右	出角			
	左	出角			
石垣延長	天端 13.10		下端 16.65		
石垣高さ	左 6.13		右 6.99		
	最高 6.99		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.30		右 0.30		
	最高地点 0.30				
地盤状況	土・斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	崩落の危険なし。ソリあり。算木積（高）				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

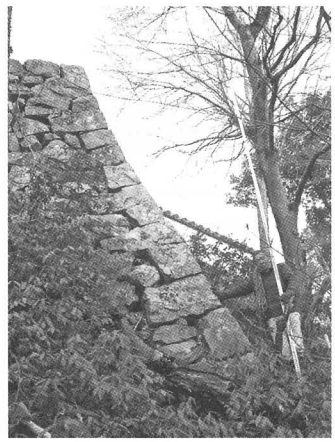


破損の要因と破損状況	略図



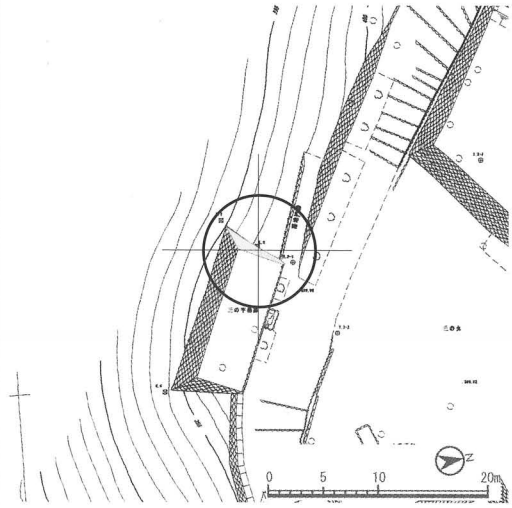
左変曲点

右変曲点

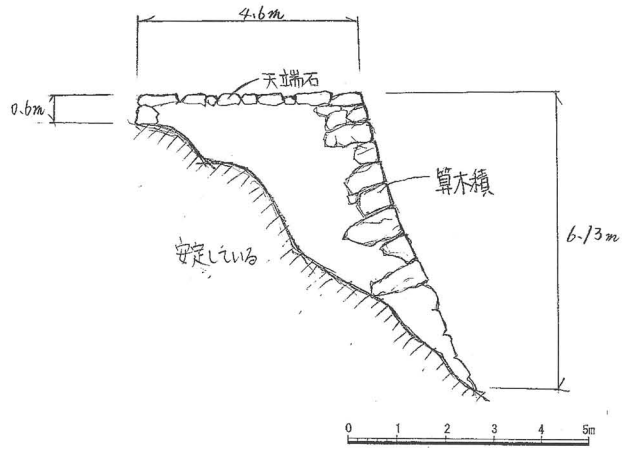


石垣番号	km_039	地区名	小松山城跡	曲輪名	三の丸
石垣部位	櫓台				
角の形状	右	出角			
	左	出角			
石垣延長	天端 4.60		下端 8.90		
石垣高さ	左 0.60		右 6.13		
	最高 6.13		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.10		右 0.30		
	最高地点 0.30				
地盤状況	土・斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	崩落の危険なし。算木積（高）				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

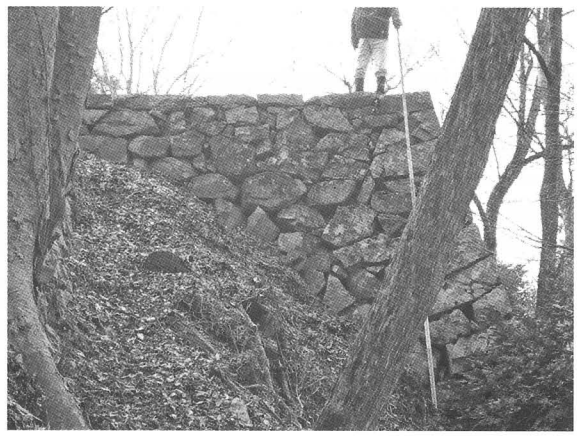


破損の要因と破損状況	略図



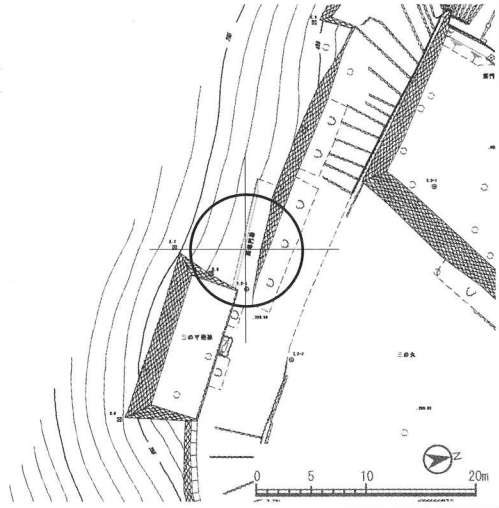
左変曲点

右変曲点

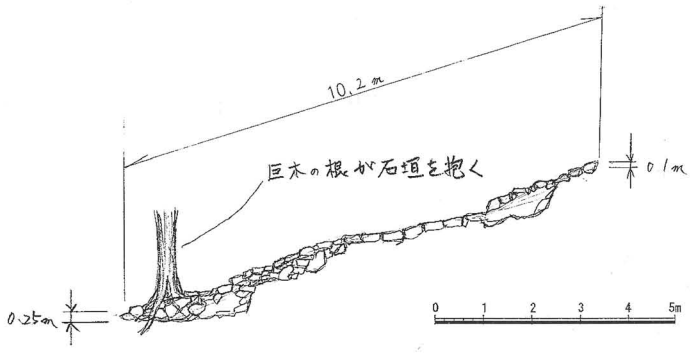


石垣番号	km_040	地区名	小松山城跡	曲輪名	三の丸
石垣部位	道路				
角の形状	右	入角			
	左	消滅			
石垣延長	天端 10.20		下端 10.40		
石垣高さ	左 0.25		右 0.10		
	最高 1.00		最高点位置 左 3.55		
石垣勾配	左 0.15		右 0.00		
	最高地点 0.40				
地盤状況	土・斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	左に生木入り込んでいる。崩落の危険なし。右端の樹木の根が石垣を抱く。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレがみられる。	

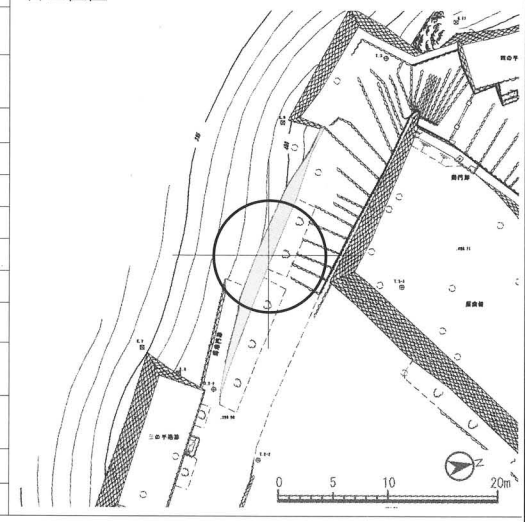


左変曲点

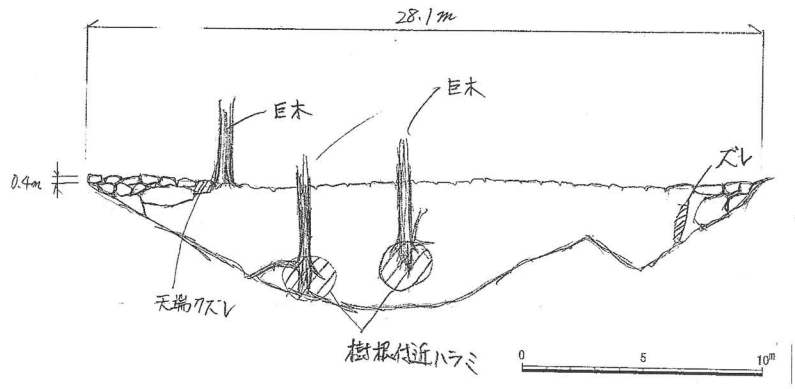
右変曲点

石垣番号	km_041	地区名	小松山城跡	曲輪名	三の丸
石垣部位	郭				
角の形状	右	出角			
	左	入角			
石垣延長	天端 28.10		下端 29.80		
石垣高さ	左 0.40		右 0.16		
	最高 4.34		最高点位置 左 12.2		
石垣勾配	左 0.10		右 0.00		
	最高地点 0.35				
地盤状況	土・斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ハラミ・ズレ・ヌケ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	樹木３本あり。現在のところ崩落の危険なしだが、樹木の成長によっては危険あり。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

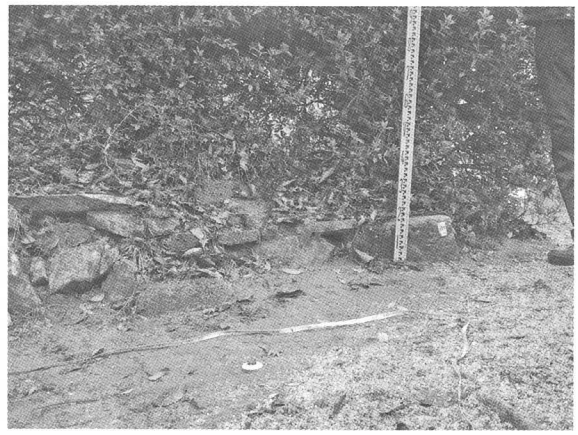


破損の要因と破損状況	略図
・石垣天端の樹木の影響などにより、ヌケ、部分崩壊がみられる。 ・石垣面の樹木の影響などにより、ハラミがみられる。 ・施工法等構造上の問題などにより、ズレがみられる。	



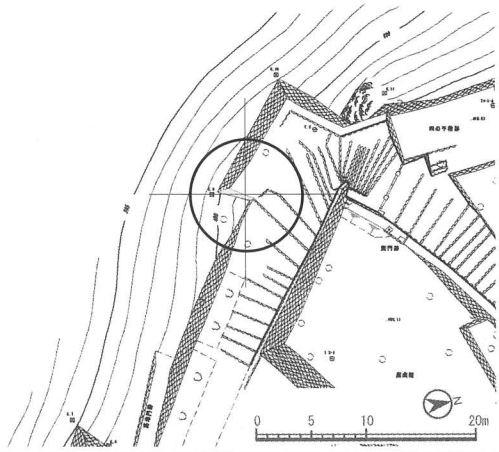
左変曲点

右変曲点

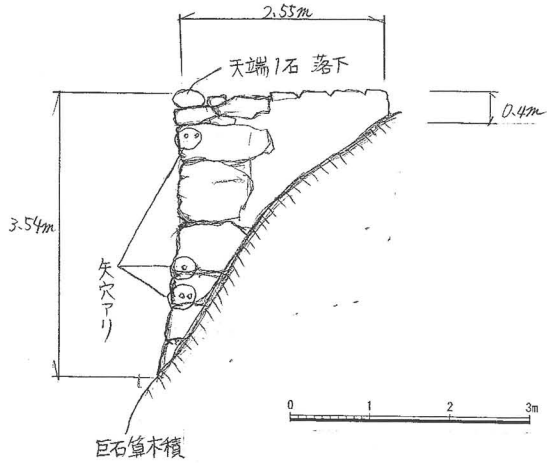


石垣番号	km_042	地区名	小松山城跡	曲輪名	三の丸
石垣部位	郭				
角の形状	右	入角			
	左	出角			
石垣延長	天端 2.55		下端 4.10		
石垣高さ	左 3.54		右 0.40		
	最高 3.54		最高点位置 左		
石垣勾配	左 0.30		右 0.10		
	最高地点 0.30				
地盤状況	土・斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好・天端にカケ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	崩落の危険なし。矢穴あり。算木積（低）				

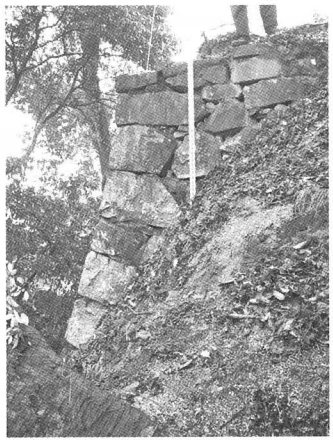
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、カケがみられる。	

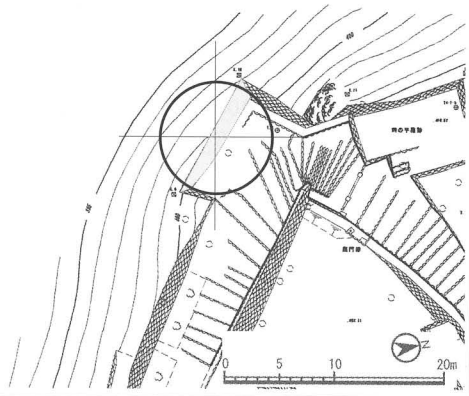


全景写真1



石垣番号	km_043	地区名	小松山城跡	曲輪名	三の丸
石垣部位	郭				
角の形状	右	出角			
	左	出角			
石垣延長	天端 10.60		下端 12.70		
石垣高さ	左 6.33		右 3.69		
	最高 6.33		最高点位置 左		
石垣勾配	左 0.35		右 0.25		
	最高地点 0.35				
地盤状況	土・斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好・小ハラミ・ヌケ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	崩落の危険なし。算木積（高）				

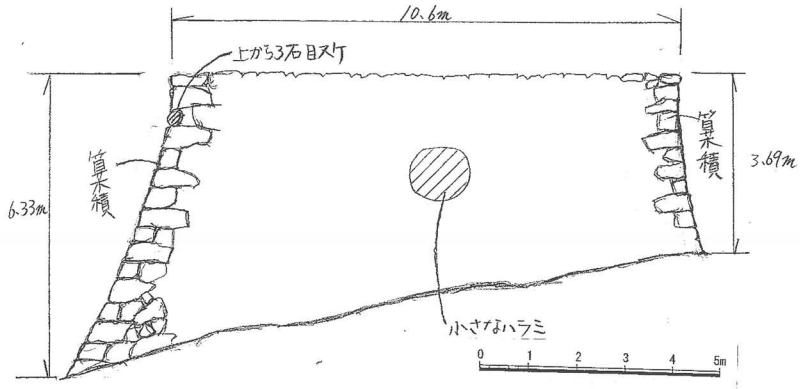
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



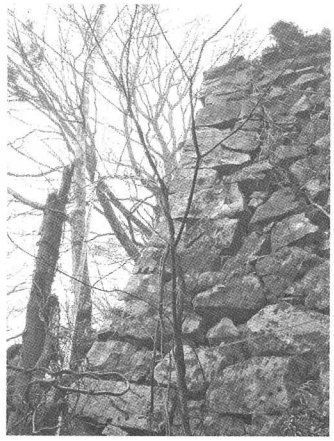
破損の要因と破損状況

・施工法等構造上の問題などにより、ヌケ、小ハラミがみられる。

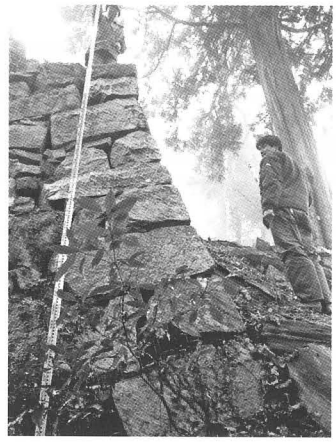
略図



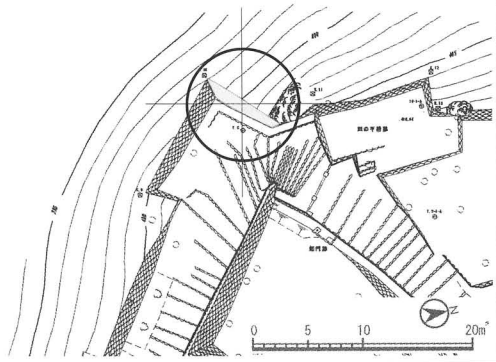
左変曲点



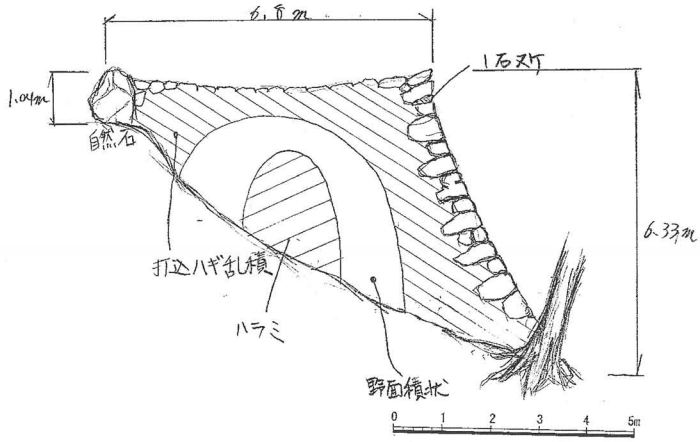
右変曲点



石垣番号	km_044	地区名	小松山城跡	曲輪名	三の丸
石垣部位	郭			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	出角			
	左	入角・岩につきあたる			
石垣延長	天端 6.80		下端 9.80		
石垣高さ	左 1.04		右 6.33		
	最高 6.33		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.00		右 0.35		
	最高地点 0.35				
地盤状況	土・斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ハラミ・ヌケ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	下半分くらいのはみ出し。崩落の危険なし。算木積（高）				

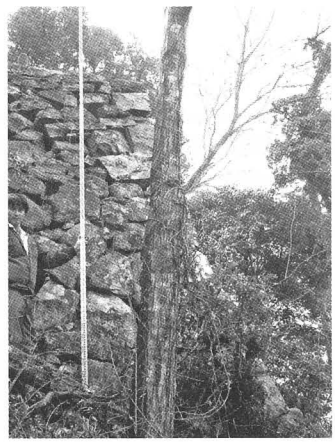


破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ハラミ、ワレがみられる。	



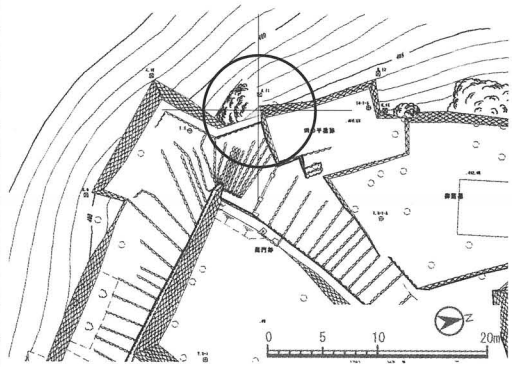
左変曲点

右変曲点



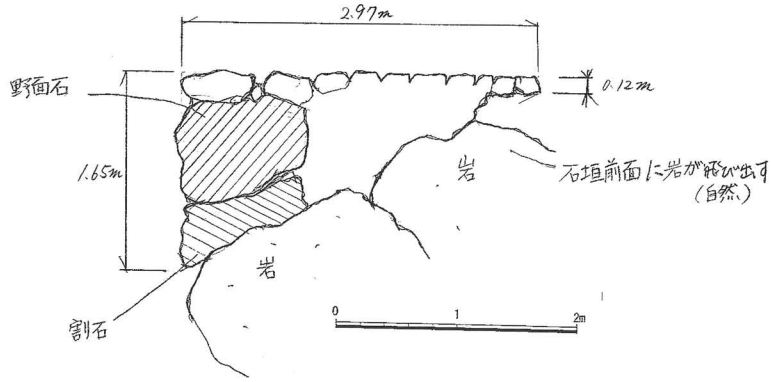
石垣番号	km_045	地区名	小松山城跡	曲輪名	三の丸
石垣部位	櫓台				
角の形状	右	すり付け			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 2.97		下端 2.97		
石垣高さ	左 1.65		右 0.12		
	最高 1.65		最高点位置 左		
石垣勾配	左 0.35		右 0.00		
	最高地点 0.35				
地盤状況	岩				
石材種別	野面石・割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	岩盤上にある低石垣（左は櫓石垣81の基部を構成する）右は一石のみ。崩落の危険なし。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況

略図

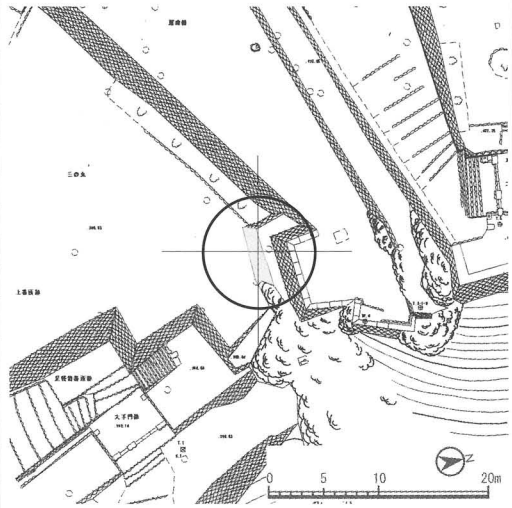


左変曲点

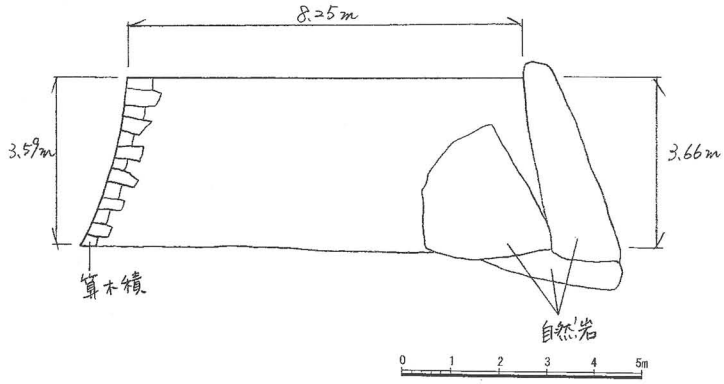
右変曲点

石垣番号	km_046	地区名	小松山城跡	曲輪名	厩曲輪
石垣部位	郭				
角の形状	右	自然岩につきあたり			
	左	出角			
石垣延長	天端 8.25		下端 8.65		
石垣高さ	左 3.59		右 3.66		
	最高 3.66		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.30		右 0.17		
	最高地点 0.17				
地盤状況	土				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	平成３年修理。崩落の危険なし。露岩の組込。算木積（高）				

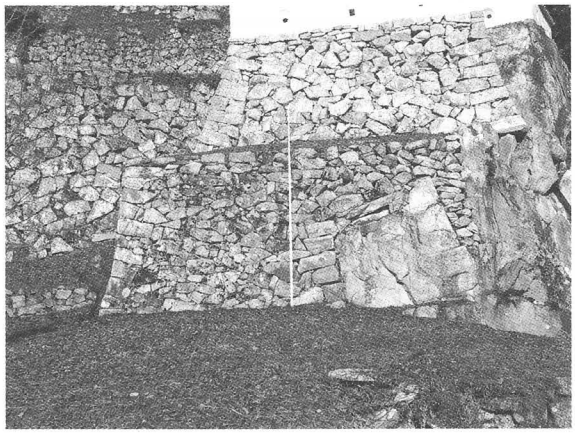
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況	略図

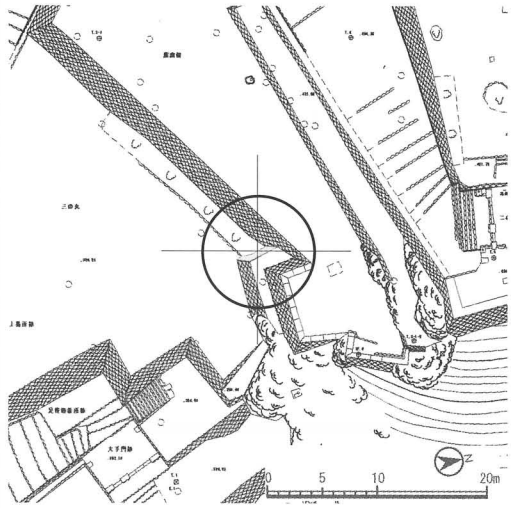


全景写真１

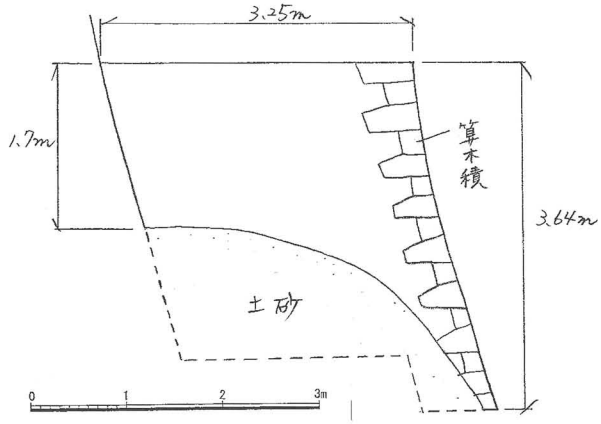


石垣番号	km_047	地区名	小松山城跡	曲輪名	厩曲輪
石垣部位	郭				
角の形状	右	出角			
	左	入角			
石垣延長	天端 3.25		下端 3.50		
石垣高さ	左 1.70		右 3.64		
	最高 3.64		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.27		右 0.23		
	最高地点 0.23				
地盤状況	土・平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	崩落の危険なし。算木積（高）				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



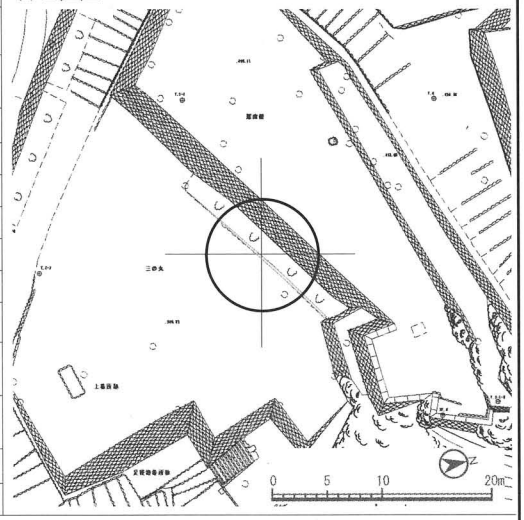
破損の要因と破損状況	略図



全景写真1

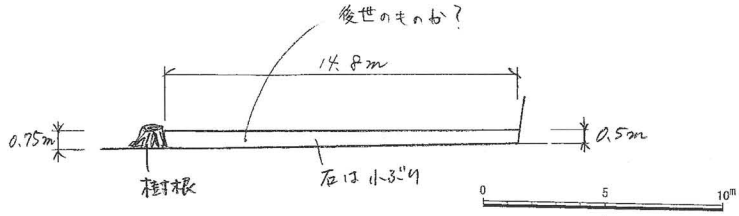
石垣番号	km_048	地区名	小松山城跡	曲輪名	厩曲輪
石垣部位	郭				
角の形状	右	出角			
	左	樹根につきあたる			
石垣延長	天端 14.80		下端 14.30		
石垣高さ	左 0.75		右 0.50		
	最高 0.95		最高点位置 左 6.00		
石垣勾配	左 0.15		右 0.10		
	最高地点 0.15				
地盤状況	土・平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	崩落の危険なし。後世のものか？				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



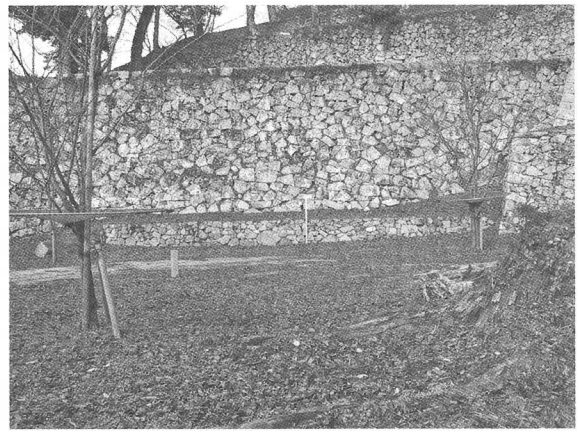
破損の要因と破損状況

略図



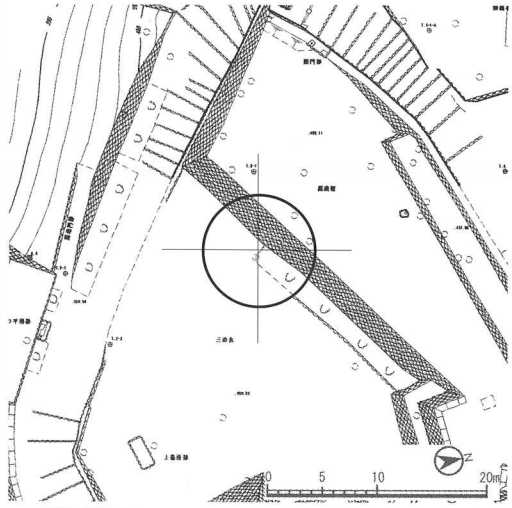
全景写真1

全景写真2

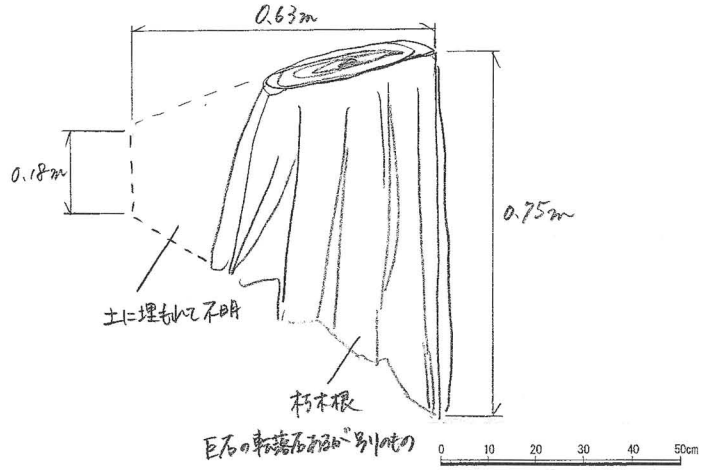


石垣番号	km_049	地区名	小松山城跡	曲輪名	厩曲輪
石垣部位	郭				
角の形状	右	その他			
	左	その他			
石垣延長	天端 0.63		下端 0.90		
石垣高さ	左 0.18		右 0.75		
	最高 0.75		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	土・平坦面				
石材種別					
石積工法	不明				
石垣現状	全壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	全壊				
特記事項	全壊。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



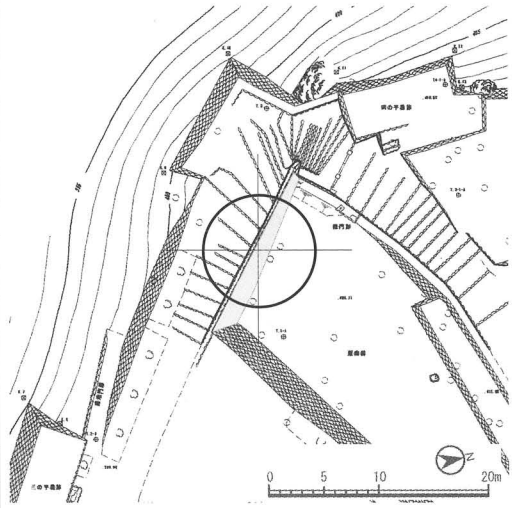
破損の要因と破損状況	略図
・全壊している。	



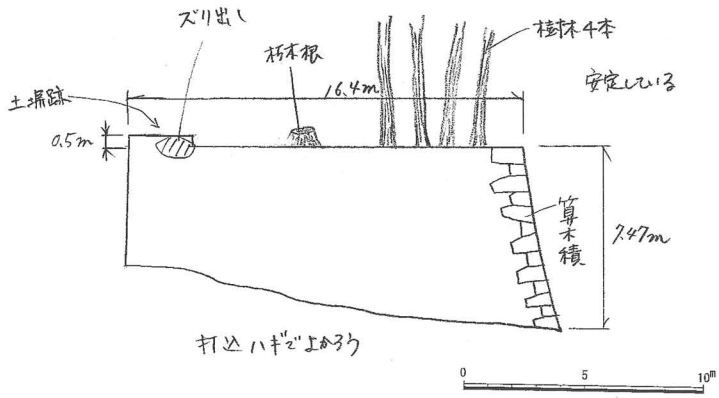
全景写真 1

石垣番号	km_050	地区名	小松山城跡	曲輪名	厩曲輪
石垣部位	郭				
角の形状	右	出角			
	左	出角			
石垣延長	天端 16.40		下端 19.10		
石垣高さ	左 0.50		右 7.47		
	最高 7.47		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.00		右 0.25		
	最高地点 0.25				
地盤状況	雨溝				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好・ズレ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	今のところ崩落の危険なし。４本の天端上の石が倒壊時は石垣崩落の恐れ。左端土塁跡石垣ズレ出し。算木積（高）				

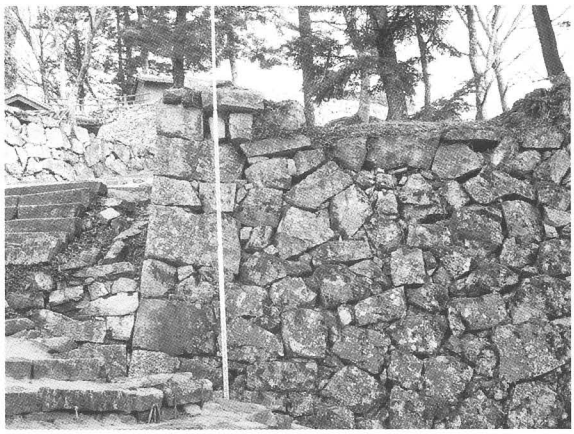
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレがみられる。	



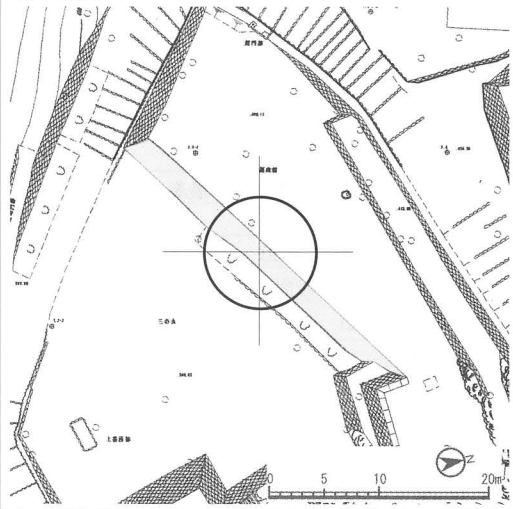
左変曲点



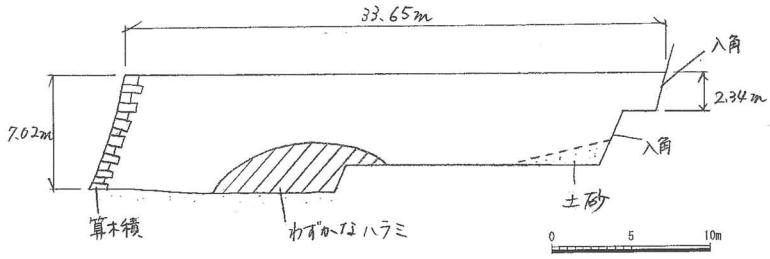
全景写真１

石垣番号	km_051	地区名	小松山城跡	曲輪名	厩曲輪
石垣部位	郭				
角の形状	右	入角			
	左	出角			
石垣延長	天端 33.65		下端 33.6		
石垣高さ	左 7.02		右 2.34		
	最高 7.02		最高点位置 左		
石垣勾配	左 0.46		右 0.36		
	最高地点 0.46				
地盤状況	土・平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好・小ハラミ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	崩落の危険なし。算木積（高）				

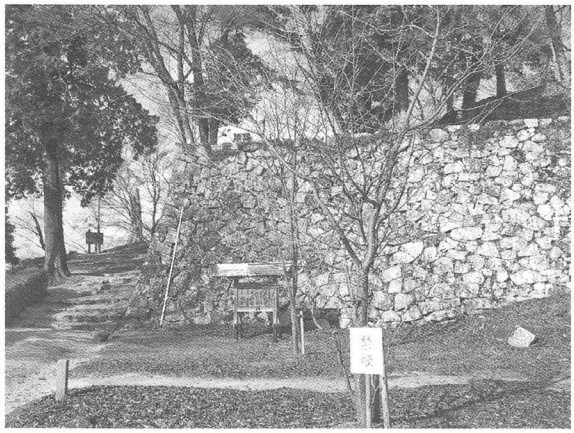
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



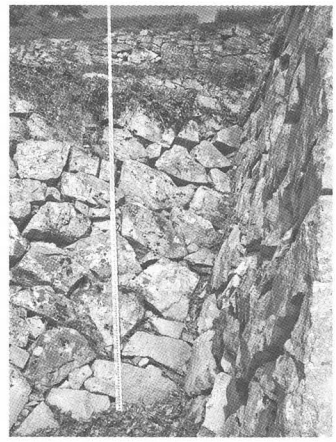
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、小ハラミがみられる。	



左変曲点

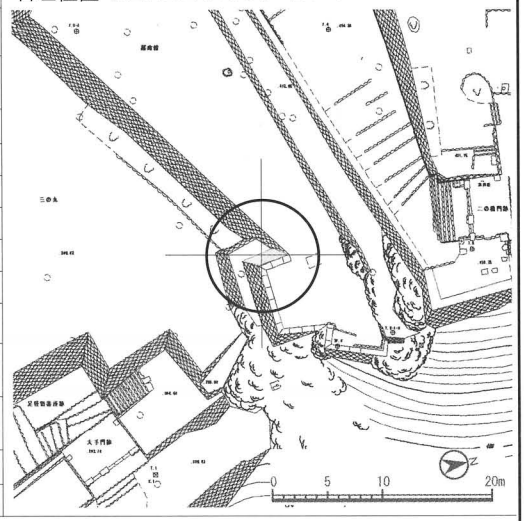


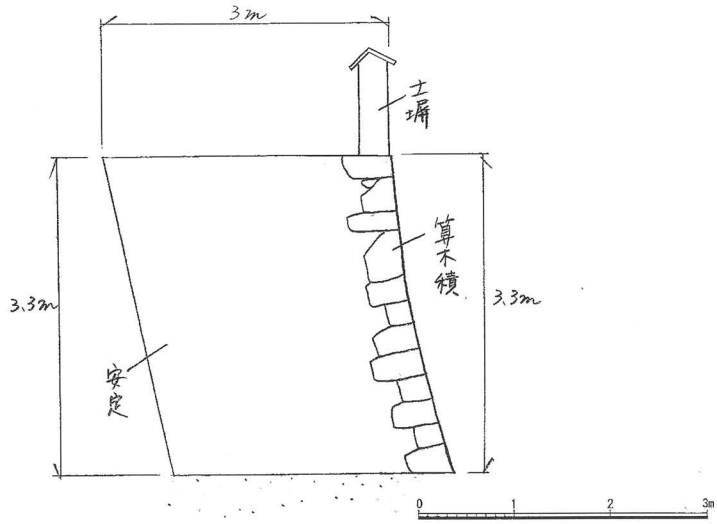
右変曲点



石垣番号	km_052	地区名	小松山城跡	曲輪名	厩曲輪
石垣部位	郭				
角の形状	右	出角			
	左	入角			
石垣延長	天端 3.00		下端 2.90		
石垣高さ	左 3.30		右 3.30		
	最高 3.30		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.20		右 0.20		
	最高地点 0.20				
地盤状況	土・平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	崩落の危険なし。算木積（高）				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

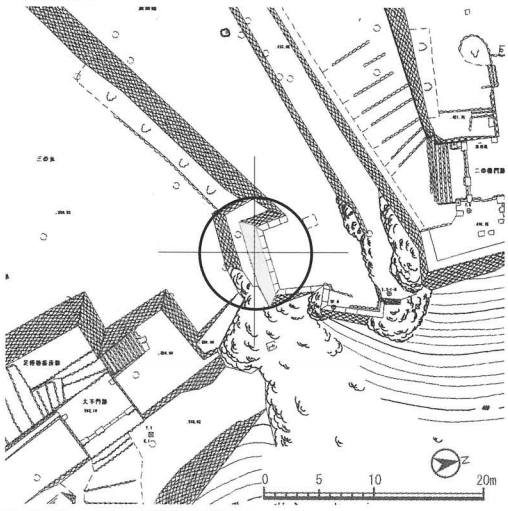


破損の要因と破損状況	略図
	

全景写真１

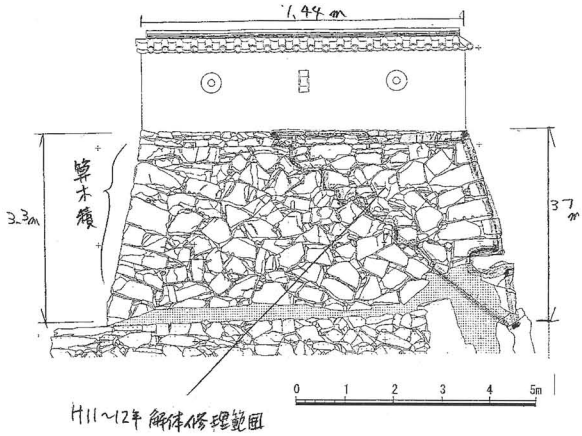
石垣番号	km_053	地区名	小松山城跡	曲輪名	厩曲輪
石垣部位	郭				
角の形状	右	出角			
	左	出角			
石垣延長	天端 7.44		下端 8.60		
石垣高さ	左 3.30		右 3.70		
	最高 3.70		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.20		右 0.20		
	最高地点 0.20				
地盤状況	土・平坦面				
石材種別	切石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	平成11年～12年右半修理。崩落の危険なし。算木積（高）。露岩上に築造。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況

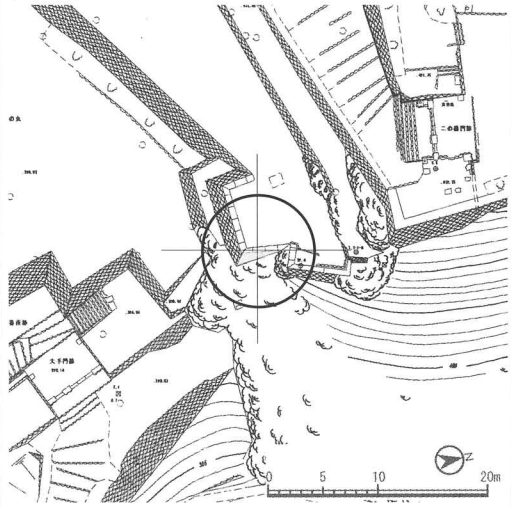
略図



全景写真1

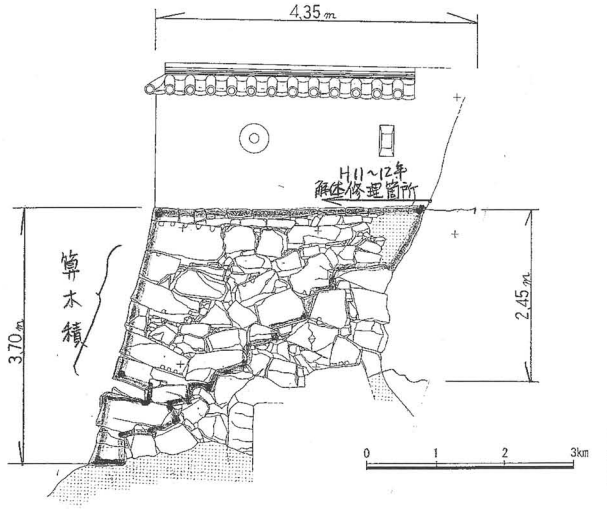
石垣番号	km_054	地区名	小松山城跡	曲輪名	厩曲輪
石垣部位	郭				
角の形状	右	自然岩につきあたり			
	左	出角			
石垣延長	天端 4.35		下端 4.46		
石垣高さ	左 3.70		右 2.45		
	最高 3.70		最高点位置 左		
石垣勾配	左 0.20		右 0.20		
	最高地点 0.20				
地盤状況	岩				
石材種別	切石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	平成11年～12年修理。崩落の危険なし。算木積（高）。露岩上に築造。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況

略図

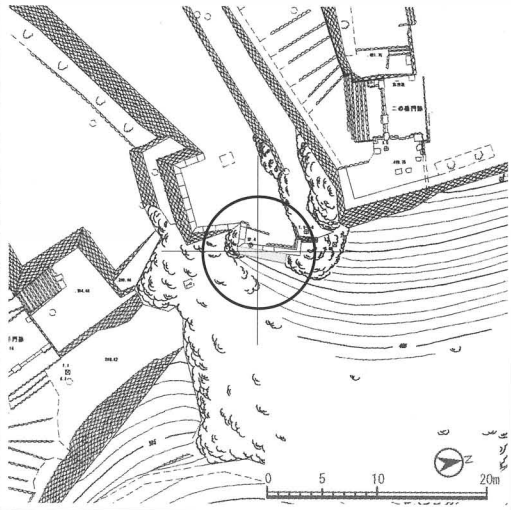


右変曲点

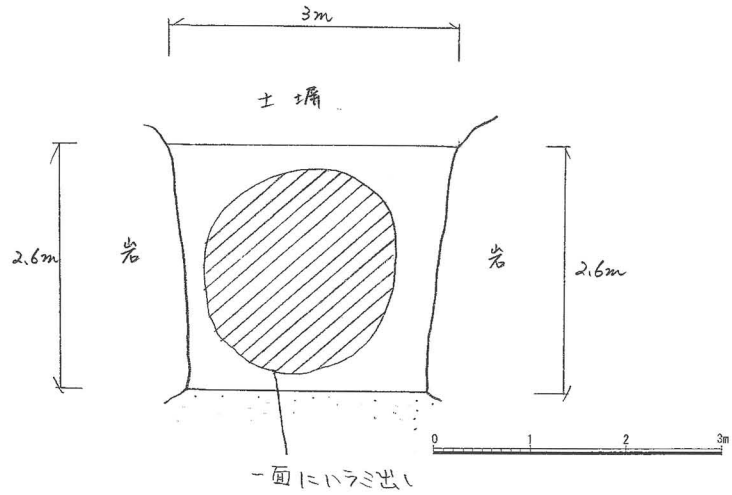
全景写真1

石垣番号	km_055	地区名	小松山城跡	曲輪名	厩曲輪
石垣部位	郭				
角の形状	右	自然岩			
	左	自然岩			
石垣延長	天端 3.00		下端 2.50		
石垣高さ	左 2.60		右 2.60		
	最高 2.60	最高点位置			
石垣勾配	左 0.25		右 0.25		
	最高地点 0.25				
地盤状況	岩				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ハラミ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	全体的にハラミ出し。露岩上に築造。				

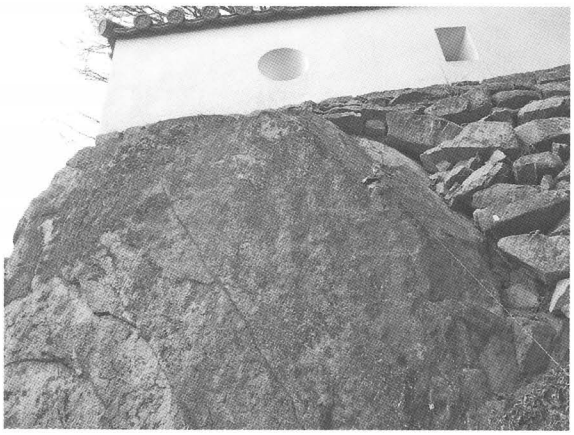
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況	略図
・露岩と築石面の不整合などにより、ハラミがみられる。	



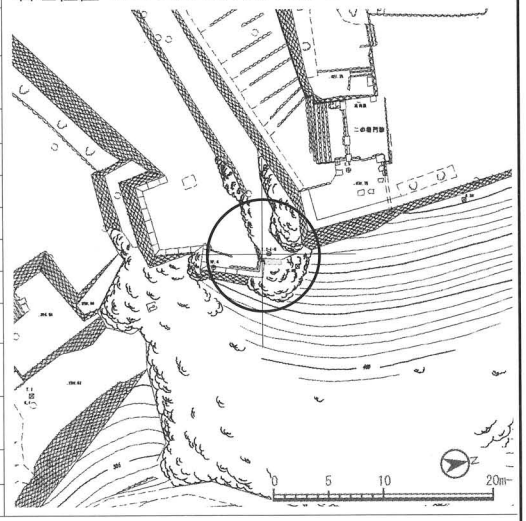
左変曲点



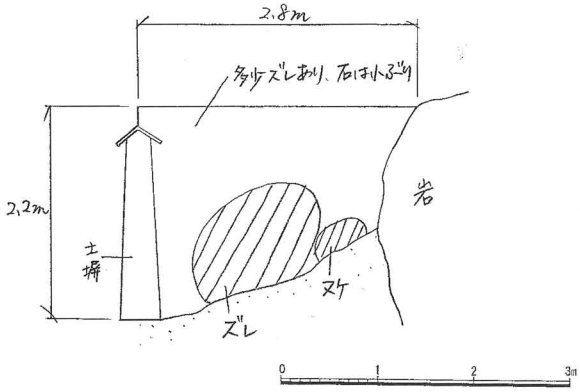
右変曲点

石垣番号	km_056	地区名	小松山城跡	曲輪名	厩曲輪
石垣部位	郭				
角の形状	右	岩につきあたり			
	左	出角			
石垣延長	天端 2.80		下端 2.70		
石垣高さ	左 2.20		右 0.00		
	最高 2.20		最高点位置 左		
石垣勾配	左 0.12		右 0.00		
	最高地点 0.12				
地盤状況	岩				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ・ヌケ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	下部、ヌケ、ズレあり。崩落の危険なし。露岩上に築造。				

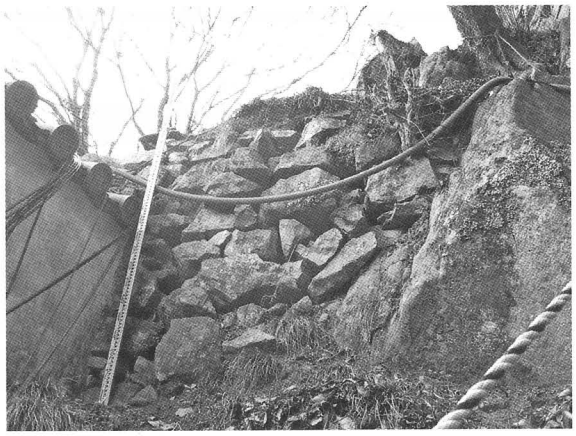
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況	略図
・岩盤と築石面の不整合などにより、ズレ、ヌケがみられる。	

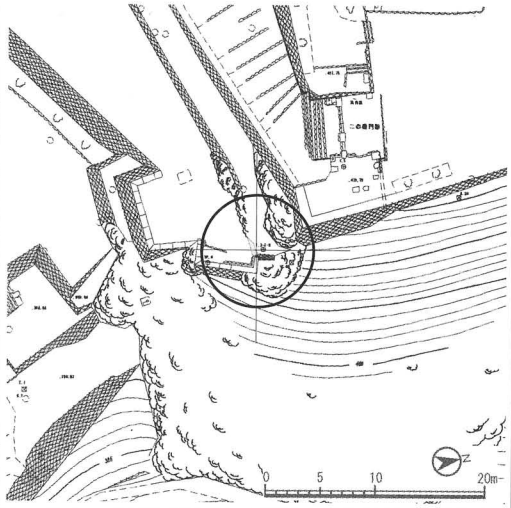


全景写真1

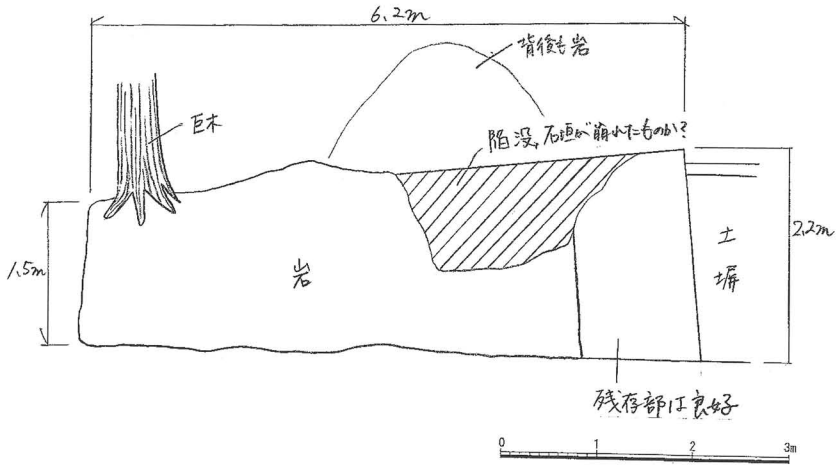


石垣番号	km_057	地区名	小松山城跡	曲輪名	厩曲輪
石垣部位	その他				
角の形状	右	出角			
	左	消滅			
石垣延長	天端 6.20		下端 6.70		
石垣高さ	左 1.50		右 2.20		
	最高 2.20		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.20		右 0.12		
	最高地点 0.12				
地盤状況	岩				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	80％崩壊。残存部は良好。露岩上に築造。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



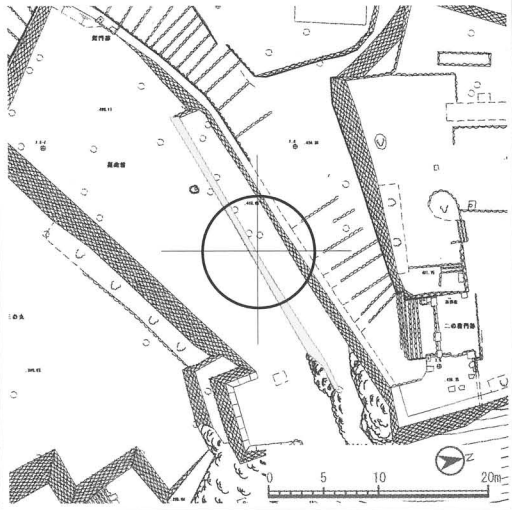
破損の要因と破損状況	略図
・露岩と築石面の不整合などにより、部分崩壊がみられる。	



全景写真1

石垣番号	km_058	地区名	小松山城跡	曲輪名	厩曲輪
石垣部位	その他				
角の形状	右	すり付け・岩に突き当て			
	左	出角			
石垣延長	天端 29.6		下端 30.20		
石垣高さ	左 3.80		右 1.50		
	最高 4.71		最高点位置 右 4.60		
石垣勾配	左 0.10		右 0.20		
	最高地点 0.20				
地盤状況	土・平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	小ハラミ・ズレ・ヌケ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	岩盤部分崩壊。危険度BとCの間。天端巨木の影響でズレあり。谷積あり。算木積（高）。露岩の組込。				

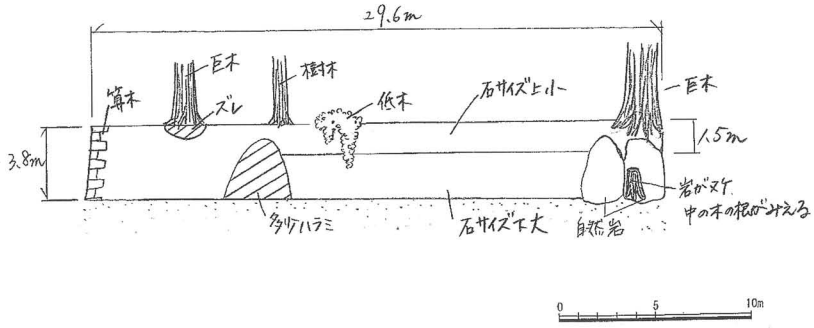
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



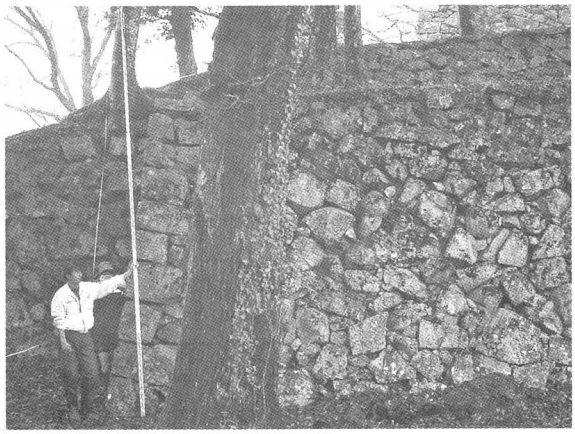
破損の要因と破損状況

- 石垣天端の樹木の影響などにより、ズレがみられる。
- 石垣面の樹木の影響などにより、ヌケがみられる。
- 施工法等構造上の問題などにより、ハラミがみられる。

略図



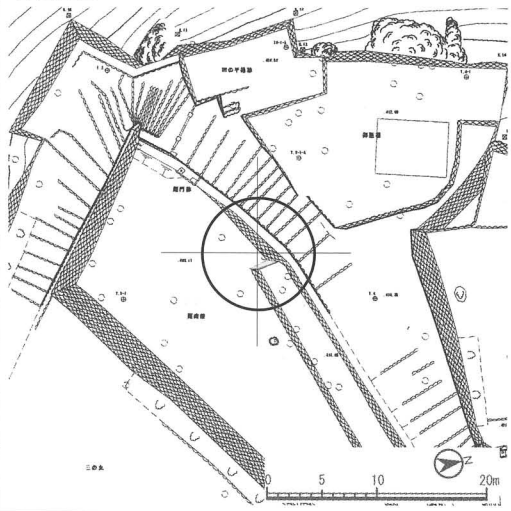
左変曲点



右変曲点

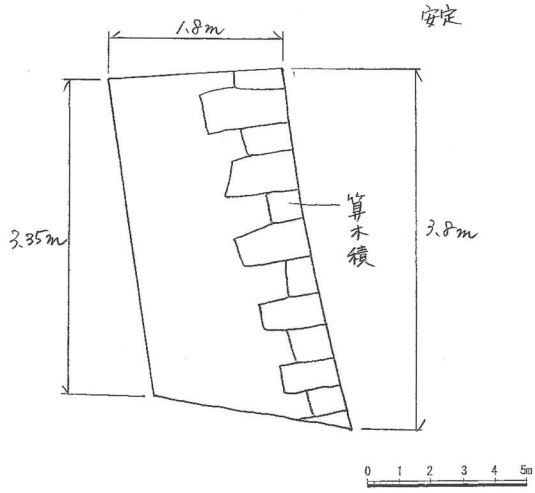
石垣番号	km_059	地区名	小松山城跡	曲輪名	厩曲輪
石垣部位	その他				
角の形状	右	出角			
	左	入角			
石垣延長	天端 1.80		下端 2.00		
石垣高さ	左 3.35		右 3.80		
	最高 3.80		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.10		右 0.10		
	最高地点 0.10				
地盤状況	土・平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	崩落の危険なし。算木積（高）				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



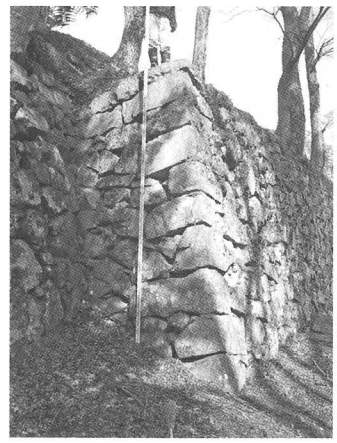
破損の要因と破損状況

略図



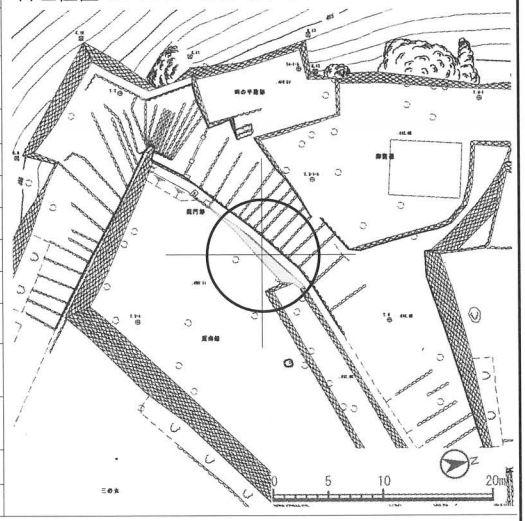
全景写真1

全景写真2



石垣番号	km_060	地区名	小松山城跡	曲輪名	厩曲輪
石垣部位	郭				
角の形状	右	入角			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 12.60		下端 12.20		
石垣高さ	左 0.25		右 0.90		
	最高 3.87		最高点位置 右 2.00		
石垣勾配	左 0.00		右 0.50		
	最高地点 0.30				
地盤状況	土・平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好・小ハラミ・ズレ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	崩落の危険なし。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

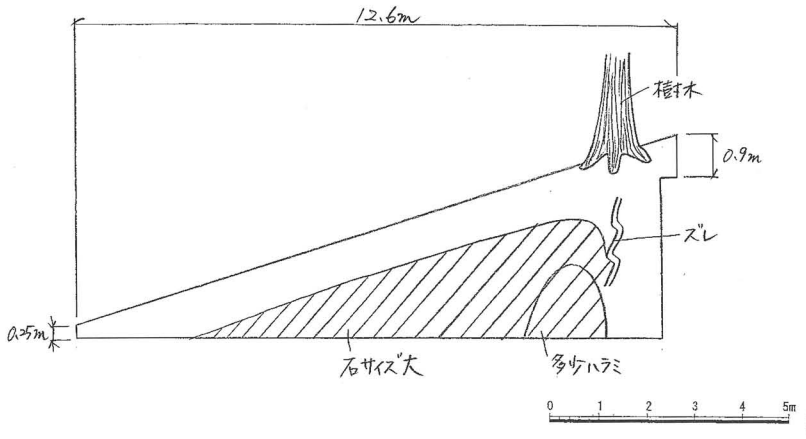


破損の要因と破損状況

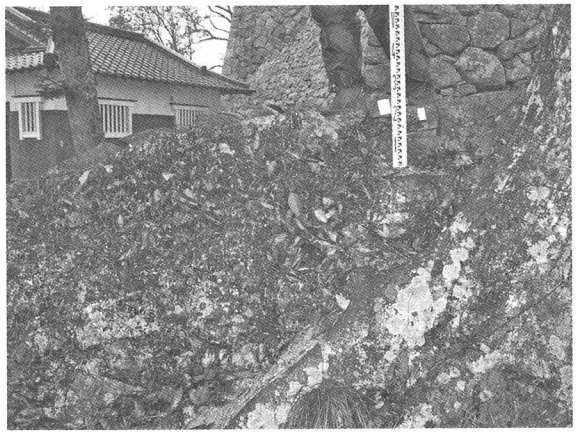
・石垣天端の樹木の影響などにより、ズレがみられる。

・施工法等構造上の問題などにより、小ハラミがみられる。

略図



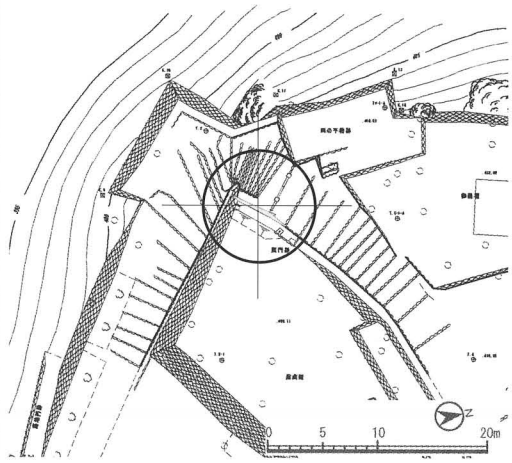
右変曲点



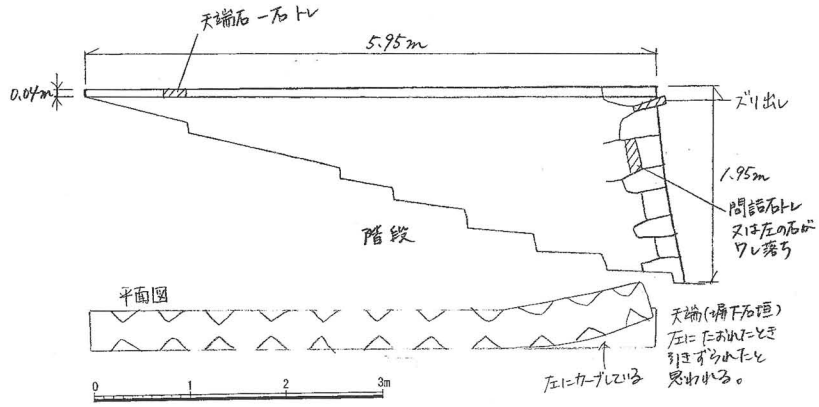
全景写真1

石垣番号	km_061	地区名	小松山城跡	曲輪名	厩曲輪
石垣部位	郭				
角の形状	右	出角			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 5.95		下端 6.60		
石垣高さ	左 0.04		右 1.95		
	最高 1.95		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.00		右 0.15		
	最高地点 0.15				
地盤状況	石段前石垣				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ・天端石欠落				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	算木積(高)、安定している。崩落の危険なし。間詰石のヌケ				

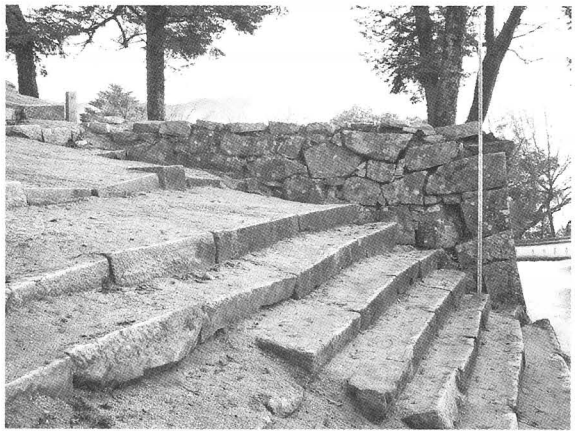
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、カケがみられる。	

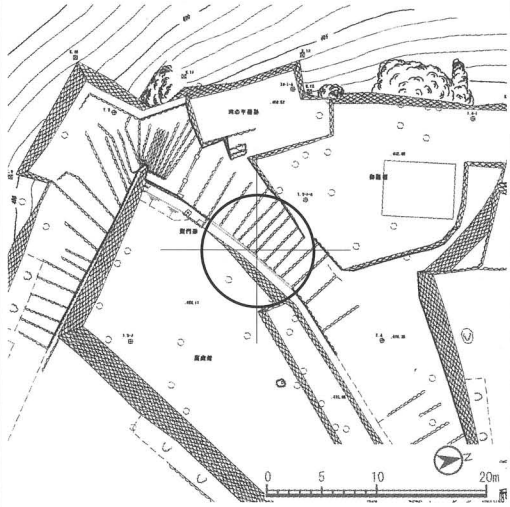


全景写真1

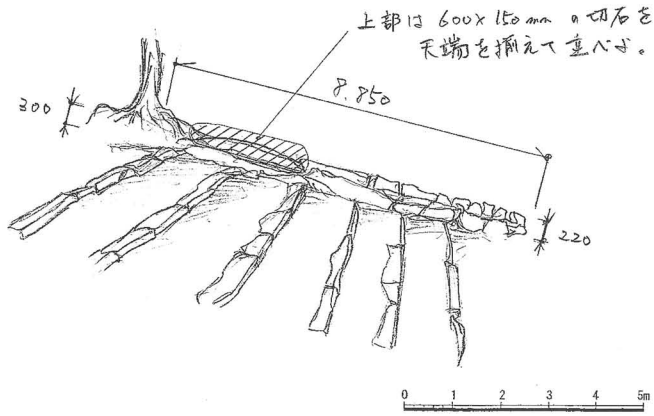


石垣番号	km_062	地区名	小松山城跡	曲輪名	厩曲輪
石垣部位	その他				
角の形状	右	すり付け			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 8.85		下端 8.85		
石垣高さ	左 0.30		右 0.22		
	最高 0.30		最高点位置 左		
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石・切石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	石段横の塀下部石垣。安定している。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況	略図

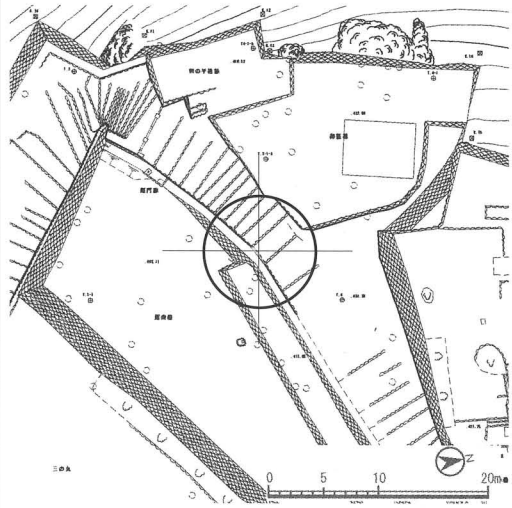


左変曲点

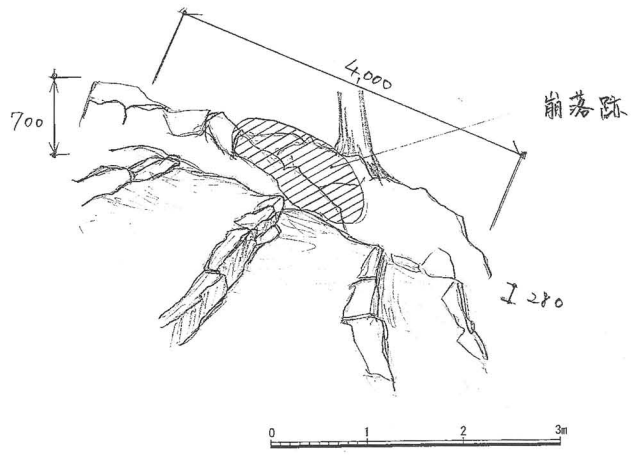
右変曲点

石垣番号	km_063	地区名	小松山城跡	曲輪名	厩曲輪
石垣部位	その他				
角の形状	右	すり付け			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 4.00		下端 4.00		
石垣高さ	左 0.70		右 0.28		
	最高 0.70		最高点位置 左		
石垣勾配	左 0.15		右 0.00		
	最高地点 0.15				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好・天端石の欠落				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	石段横の塀下部石垣。右側天端欠落しているが安定している。				

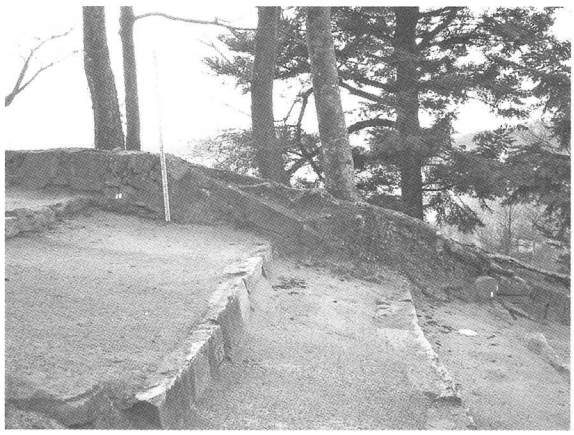
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、カケがみられる。	

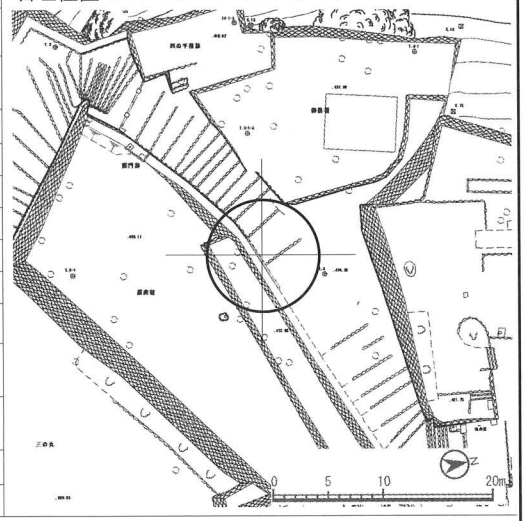


全景写真1

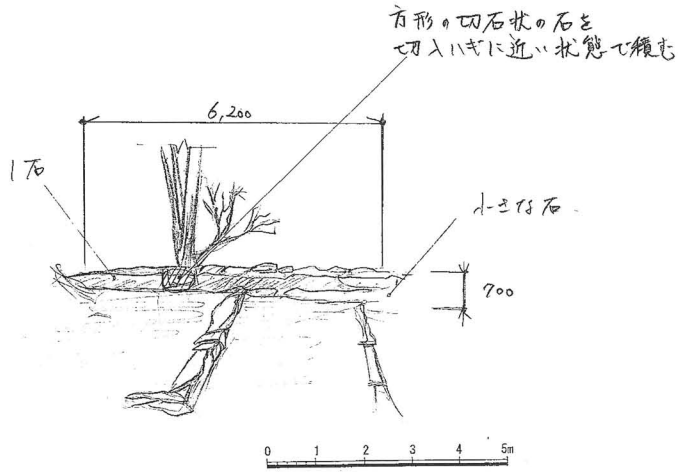


石垣番号	km_064	地区名	小松山城跡	曲輪名	厩曲輪
石垣部位	その他				
角の形状	右	すり付け			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 6.20		下端 6.20		
石垣高さ	左 0.00		右 0.70		
	最高 0.70		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.00		右 0.15		
	最高地点 0.15				
地盤状況	平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	石垣横の塀下部石垣。安定している。				

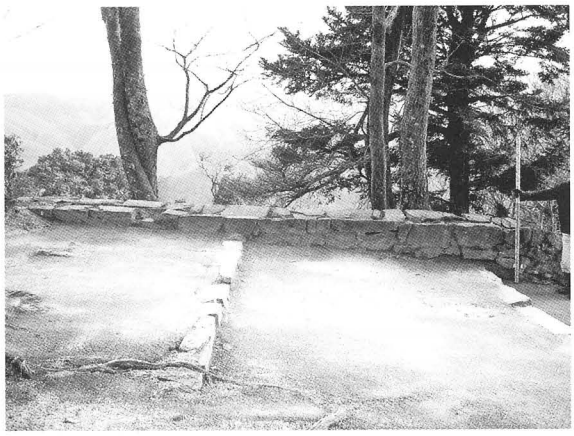
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況	略図

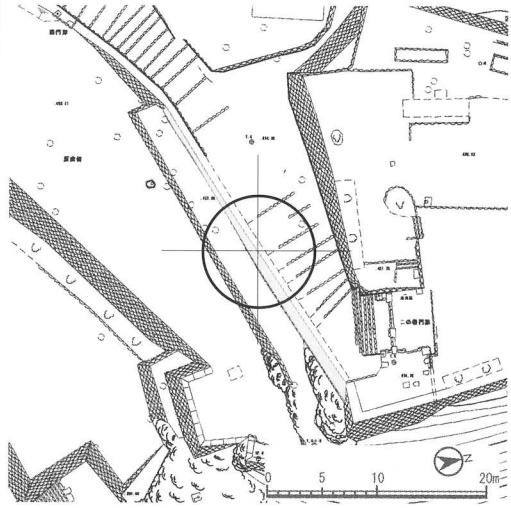


全景写真1

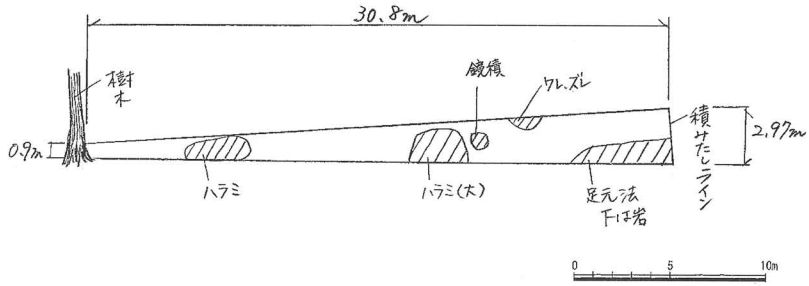


石垣番号	km_065	地区名	小松山城跡	曲輪名	厩曲輪
石垣部位	郭				
角の形状	右	折(うすい)			
	左	km60へ			
石垣延長	天端 30.80		下端 30.80		
石垣高さ	左 0.90		右 2.97		
	最高 3.44		最高点位置 右 5.40		
石垣勾配	左 0.50		右 0.40		
	最高地点 0.42				
地盤状況	土・平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ハラミ・ズレ・割レ・小ハラミ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	崩落の危険なし。鏡積				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、ハラミがみられる。	

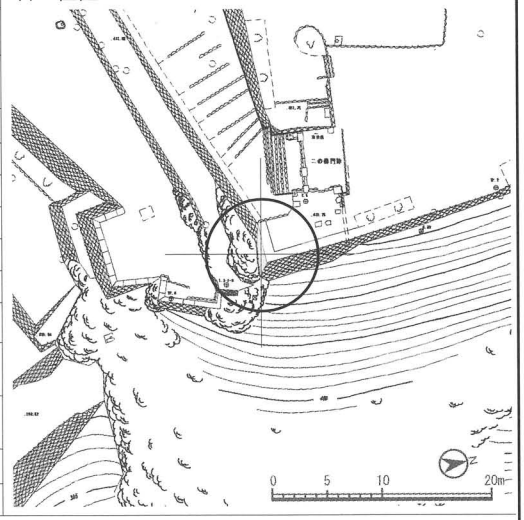


左変曲点

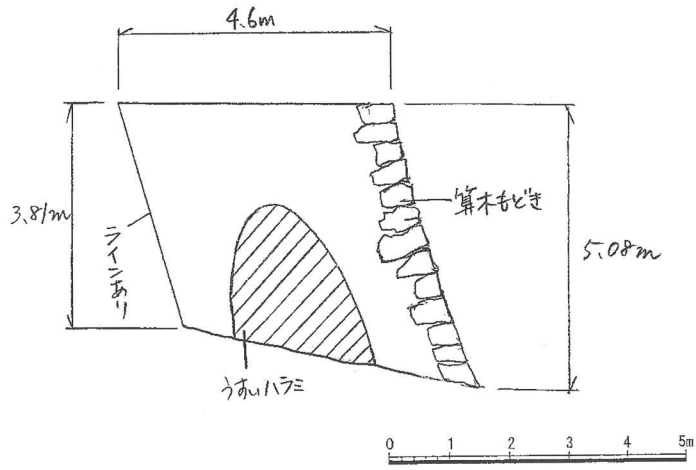
右変曲点

石垣番号	km_066	地区名	小松山城跡	曲輪名	厩曲輪
石垣部位	郭				
角の形状	右	出角			
	左	折れ(残)・積み出しライン			
石垣延長	天端 4.60		下端 5.30		
石垣高さ	左 3.81		右 5.08		
	最高 5.08		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.40		右 0.30		
	最高地点 0.30				
地盤状況	岩				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	小ハラミ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	崩落の危険なし。比較的大石用いる。算木積（低）				

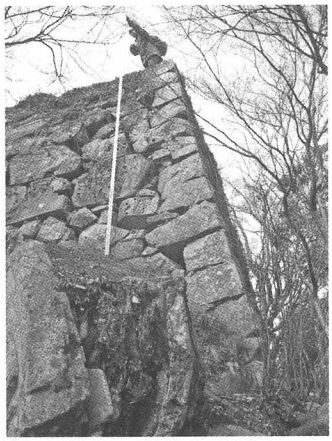
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



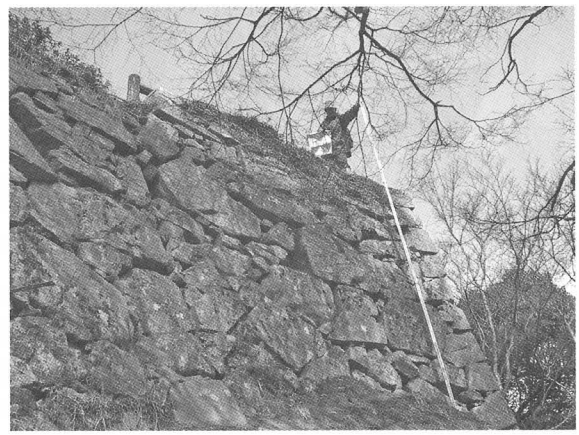
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、小ハラミがみられる。	



右変曲点

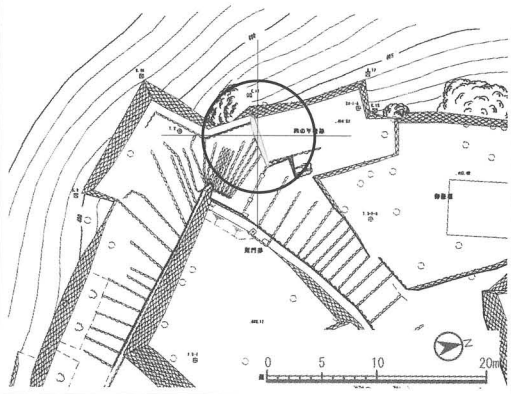


全景写真1



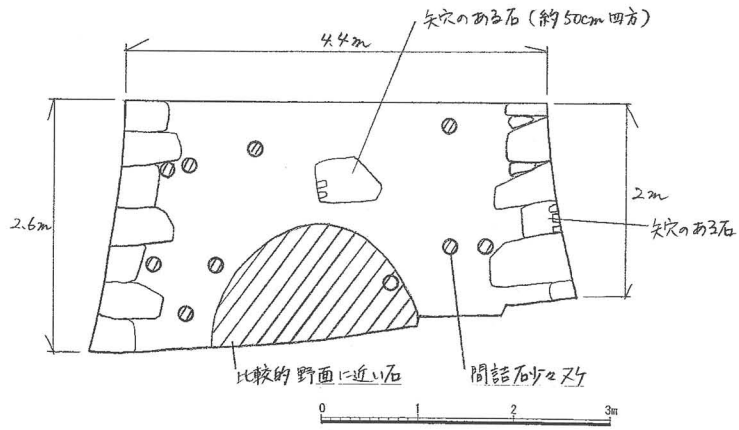
石垣番号	km_067	地区名	小松山城跡	曲輪名	御膳棚
石垣部位	櫓台				
角の形状	右	出角			
	左	出角			
石垣延長	天端 4.40		下端 5.10		
石垣高さ	左 2.60		右 2.00		
	最高 2.60		最高点位置 左		
石垣勾配	左 0.15		右 0.15		
	最高地点 0.15				
地盤状況	斜面				
石材種別					
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	前面は石段。間詰石のヌケあり。安定している。崩落の危険なし。算木積(高)。矢穴あり。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況

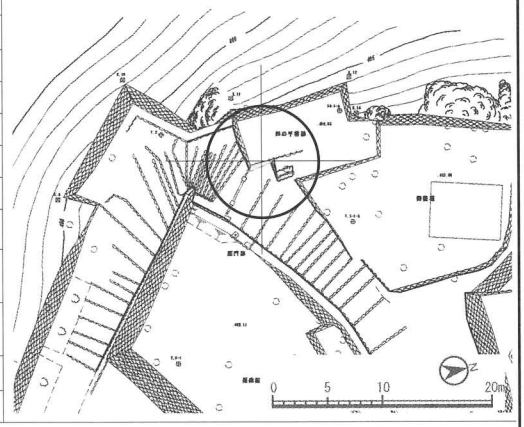
略図



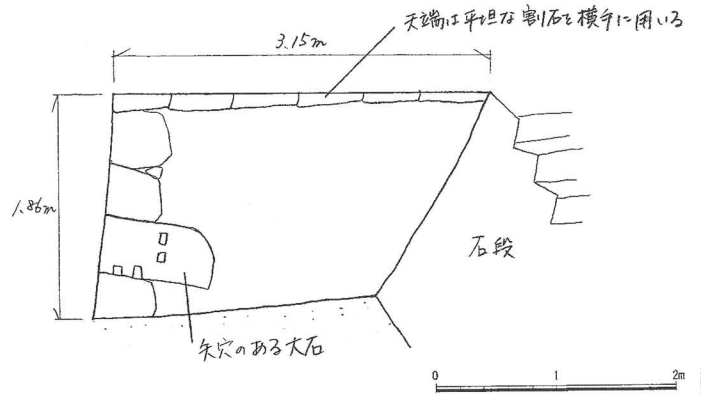
全景写真1

石垣番号	km_068	地区名	小松山城跡	曲輪名	御膳棚
石垣部位	櫓台				
角の形状	右	入角			
	左	出角			
石垣延長	天端 3.15		下端 2.35		
石垣高さ	左 1.86		右 0.00		
	最高 1.86		最高点位置 左		
石垣勾配	左 0.10		右 0.00		
	最高地点 0.10				
地盤状況	土・平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	算木積(高)、安定している。崩落の危険なし。矢穴あり				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



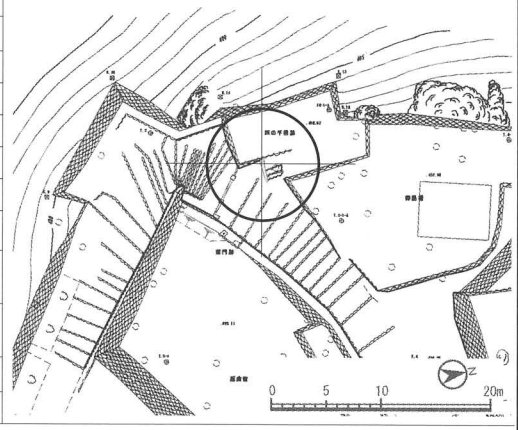
破損の要因と破損状況	略図



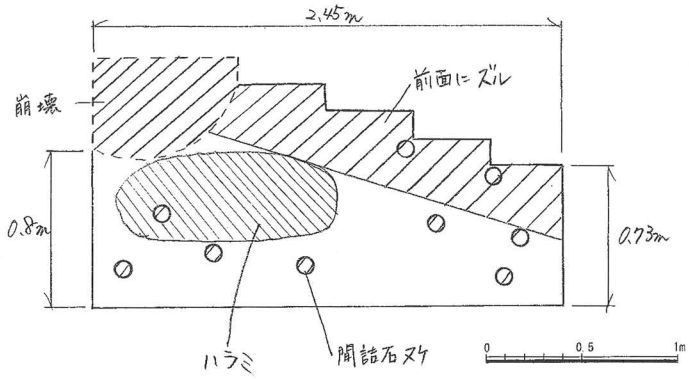
全景写真1

石垣番号	km_069	地区名	小松山城跡	曲輪名	御膳棚
石垣部位	櫓台				
角の形状	右	すり付け			
	左	入角			
石垣延長	天端 2.45		下端 2.45		
石垣高さ	左 0.80		右 0.73		
	最高 1.25		最高点位置 左 1.10		
石垣勾配	左 0.10		右 0.10		
	最高地点 0.00				
地盤状況	平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ・部分崩壊・ハラミ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	上半部、全体はハラミ出し。20～30cmの割石を用いる。間詰石のヌケあり。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



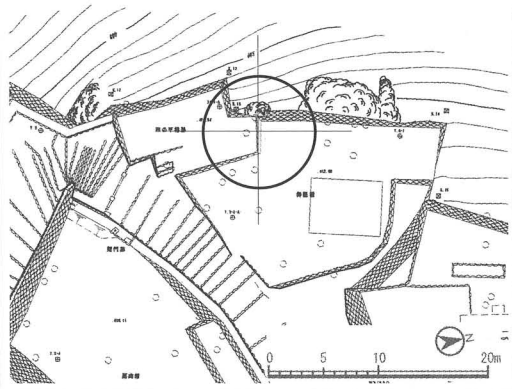
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、ハラミがみられる。	



全景写真1

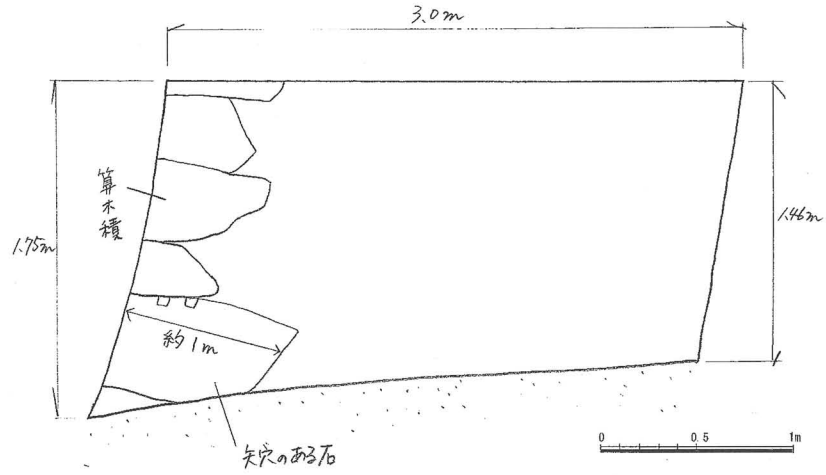
石垣番号	km_070	地区名	小松山城跡	曲輪名	御膳棚
石垣部位	郭				
角の形状	右	入角			
	左	出角			
石垣延長	天端 3.00		下端 3.10		
石垣高さ	左 1.75		右 1.46		
	最高 1.75		最高点位置 左		
石垣勾配	左 0.25		右 0.15		
	最高地点 0.25				
地盤状況	土				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	算木積（高）。崩落の危険なし。矢穴あり。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況

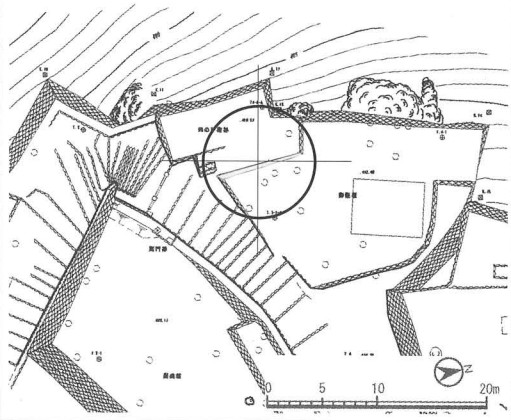
略図



全景写真1

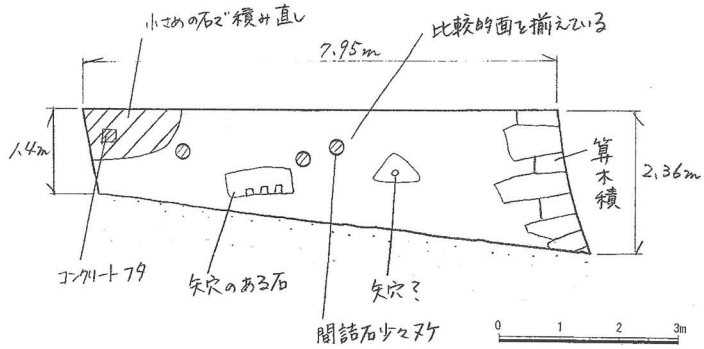
石垣番号	km_071	地区名	小松山城跡	曲輪名	御膳棚
石垣部位	郭				
角の形状	右	出角			
	左	入角			
石垣延長	天端 7.95		下端 8.30		
石垣高さ	左 1.40		右 2.36		
	最高 2.30		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.25		右 0.23		
	最高地点 0.23				
地盤状況	土				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	1m×0.5m程の長手の割石を横に積む。間詰石のヌケあり。算木積(高)。矢穴あり。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

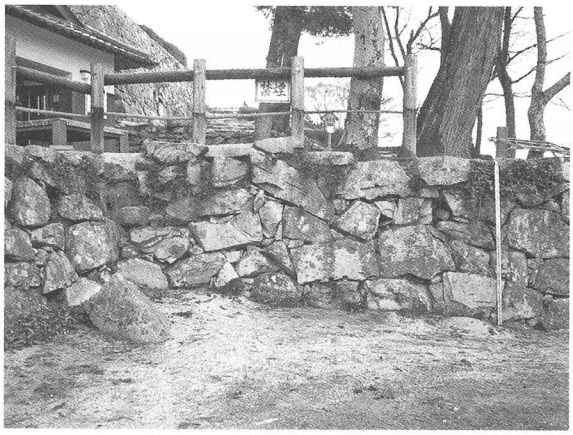


破損の要因と破損状況

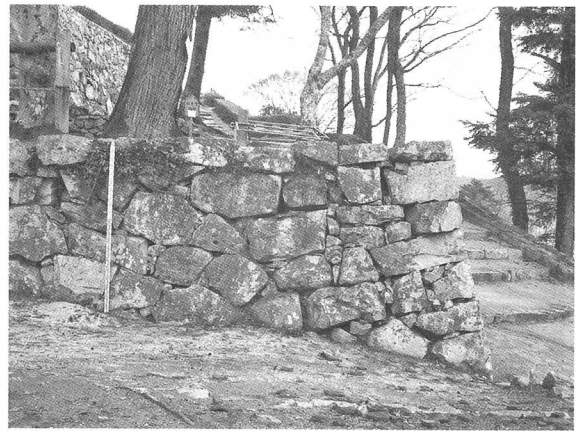
略図



全景写真1

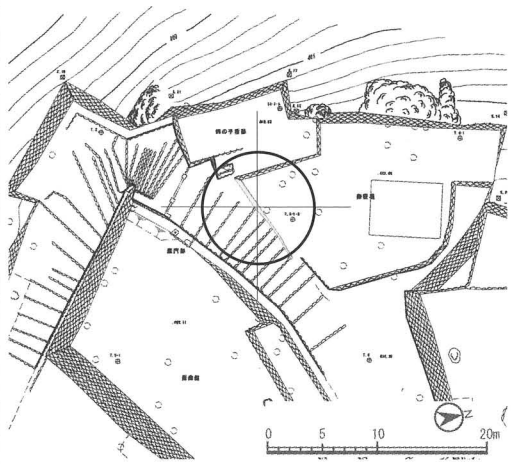


全景写真2

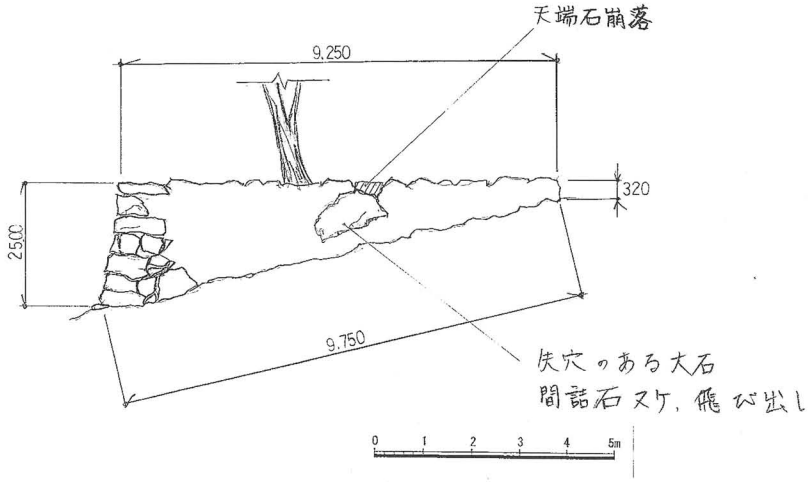


石垣番号	km_072	地区名	小松山城跡	曲輪名	御膳棚
石垣部位	郭				
角の形状	右	その他			
	左	出角			
石垣延長	天端 9.25		下端 9.75		
石垣高さ	左 2.50		右 0.32		
	最高 2.50		最高点位置 左		
石垣勾配	左 0.20		右 0.00		
	最高地点 0.20				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好・天端石の欠落				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	石段前、石垣。大手門の割石を用いる。算木積（高）。間詰石のヌケあり。				

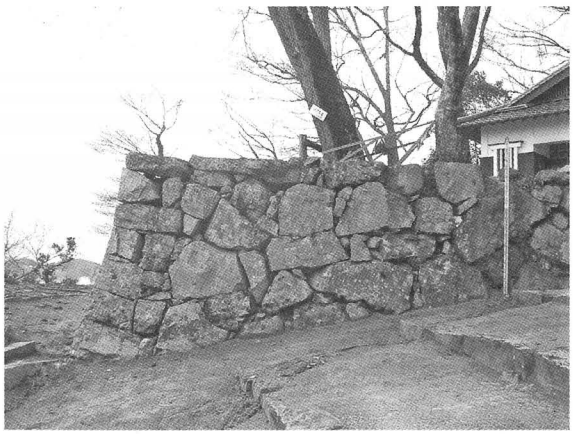
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



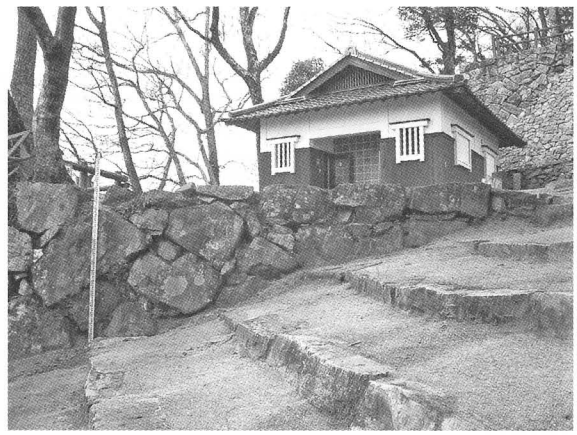
破損の要因と破損状況	略図
・大石の影響などにより、カケがみられる。	



全景写真1

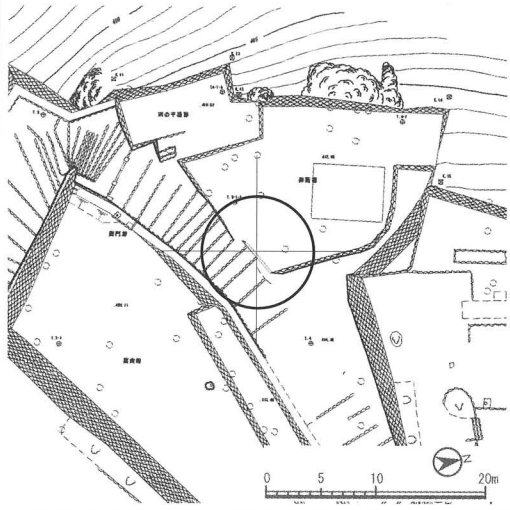


全景写真2

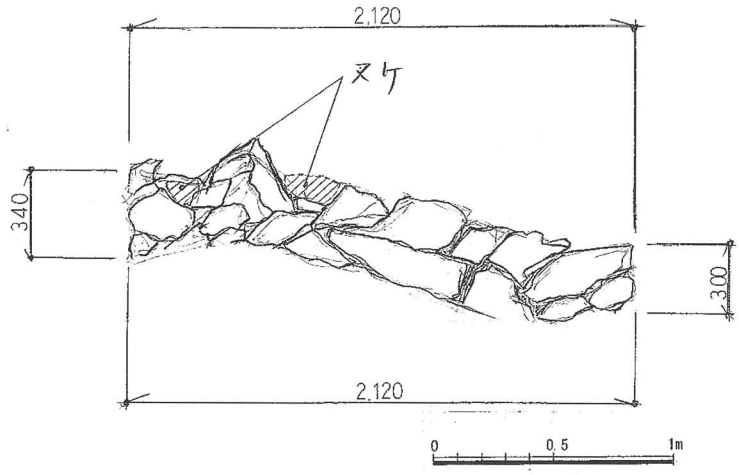


石垣番号	km_073	地区名	小松山城跡	曲輪名	御膳棚
石垣部位	郭				
角の形状	右	すり付け			
	左	入角			
石垣延長	天端 2.12		下端 2.12		
石垣高さ	左 0.34		右 0.30		
	最高 0.45		最高点位置 右 0.55		
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	土				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	天端石の欠落				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	安定している。				

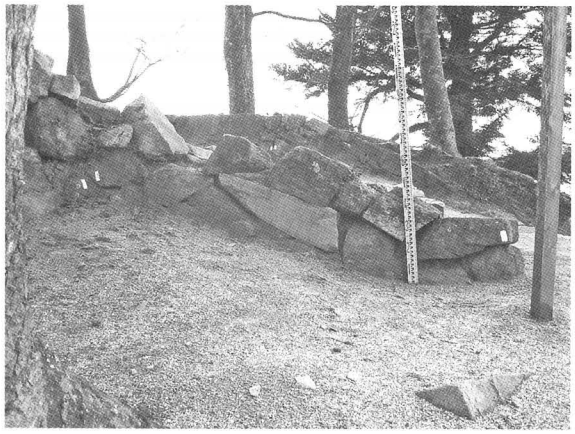
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、カケがみられる。	

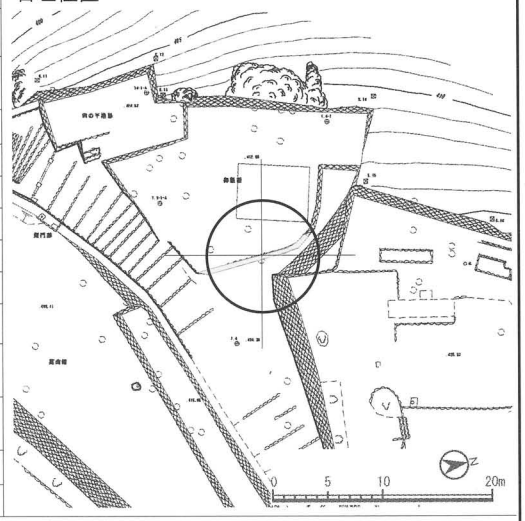


全景写真1

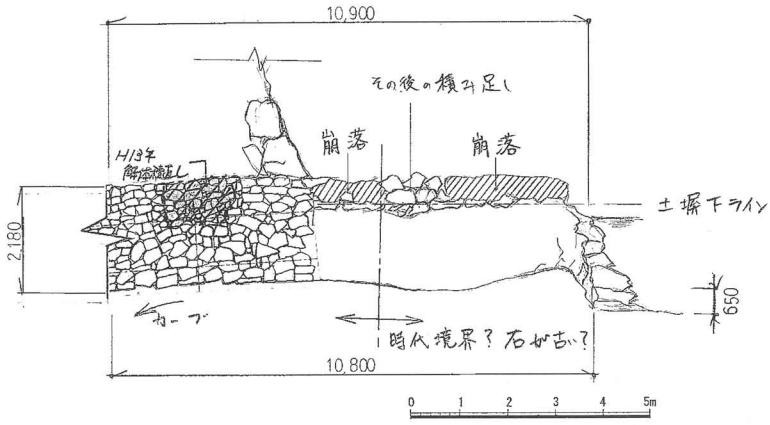


石垣番号	km_074	地区名	小松山城跡	曲輪名	御膳棚
石垣部位	郭				
角の形状	右	すり付け			
	左	すり付け・km_075からつづく			
石垣延長	天端 10.90		下端 10.80		
石垣高さ	左 2.18		右 0.65		
	最高 2.18		最高点位置 左		
石垣勾配	左 0.30		右 0.10		
	最高地点 0.30				
地盤状況	土				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好・天端石の欠落				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	H13年度積み直し。天端欠損。				

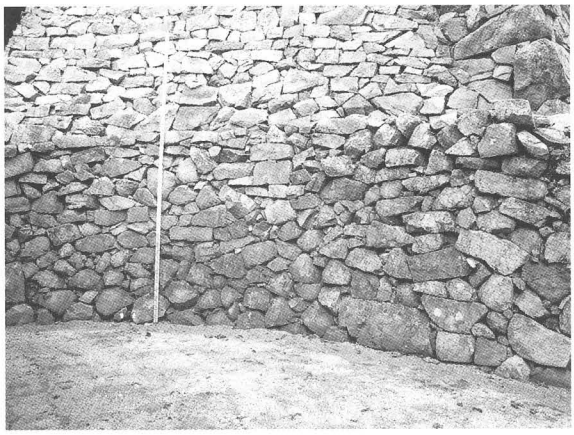
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



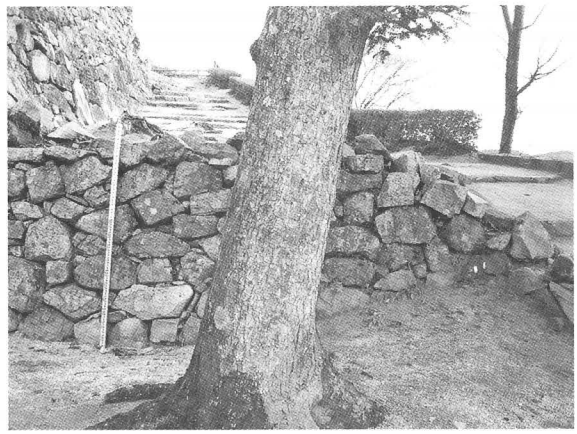
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、カケがみられる。	



左変曲点

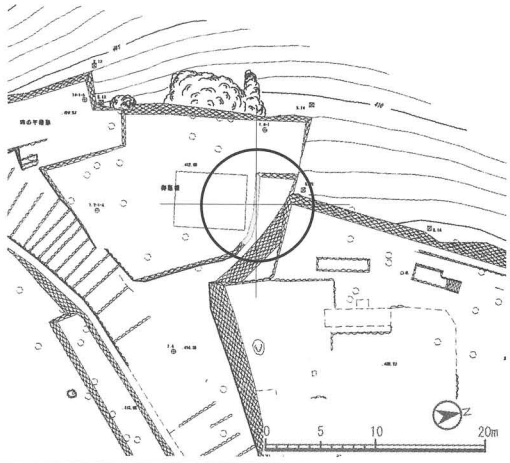


右変曲点



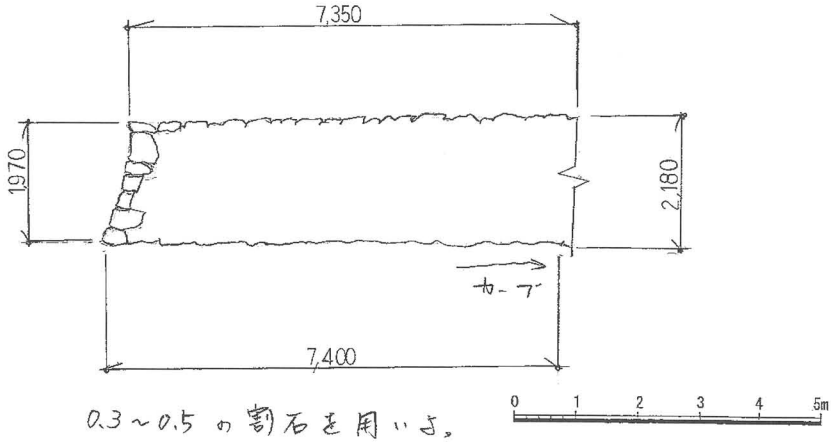
石垣番号	km_075	地区名	小松山城跡	曲輪名	御膳棚
石垣部位	郭				
角の形状	右	km_074につづく			
	左	出角			
石垣延長	天端 7.35		下端 7.40		
石垣高さ	左 1.97		右 2.18		
	最高 2.18		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.12		右 0.20		
	最高地点 0.20				
地盤状況	土				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	算木積（低）。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

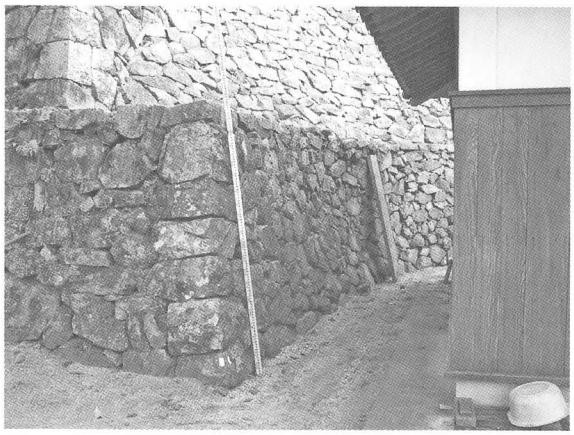


破損の要因と破損状況

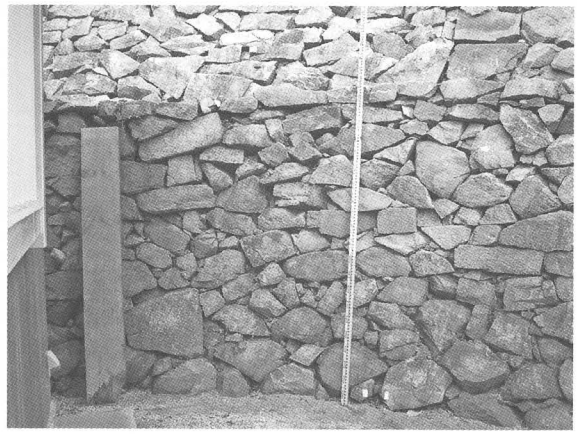
略図



左変曲点

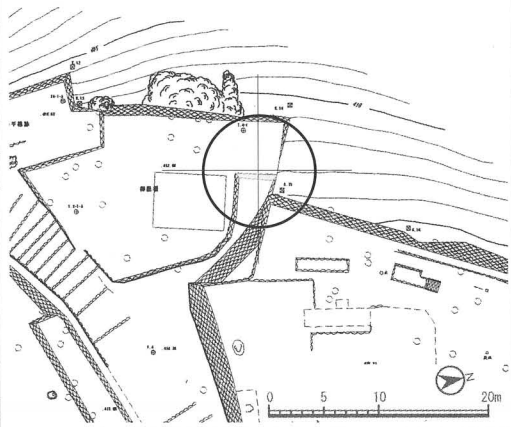


右変曲点



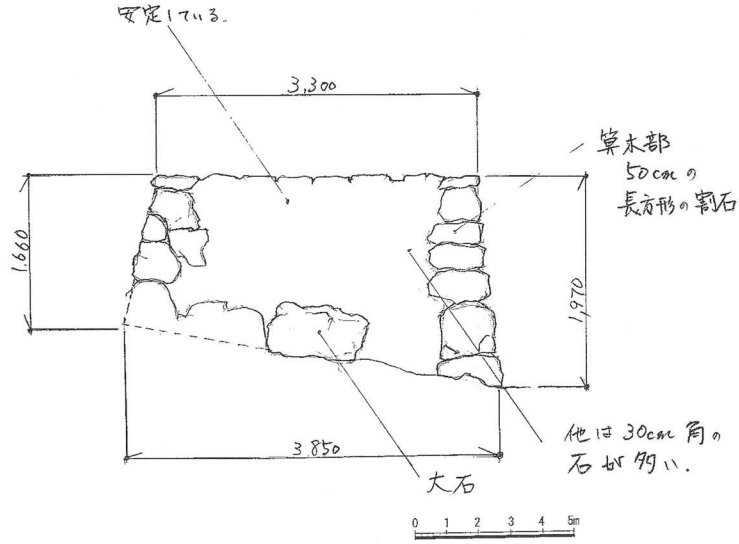
石垣番号	km_076	地区名	小松山城跡	曲輪名	御膳棚
石垣部位	郭				
角の形状	右	出角			
	左	出角			
石垣延長	天端 3.30		下端 3.85		
石垣高さ	左 1.66		右 1.97		
	最高 1.97		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.20		右 0.15		
	最高地点 0.15				
地盤状況	土				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	算木積（低）。崩落の危険なし。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況

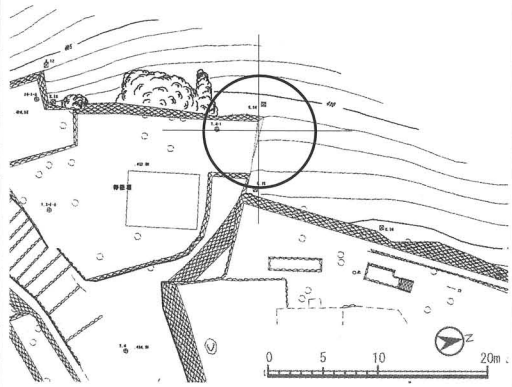
略図



全景写真1

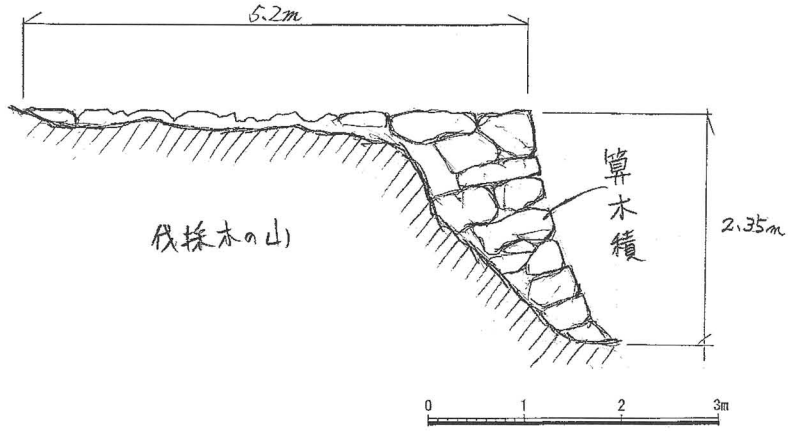
石垣番号	km_077	地区名	小松山城跡	曲輪名	御膳棚
石垣部位	郭				
角の形状	右	出角			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 5.20		下端 6.20		
石垣高さ	左 0.00		右 2.35		
	最高 2.35		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.00		右 0.30		
	最高地点 0.30				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	伐採木積み上げで左端は上面１石しか見えず。算木積（高）。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



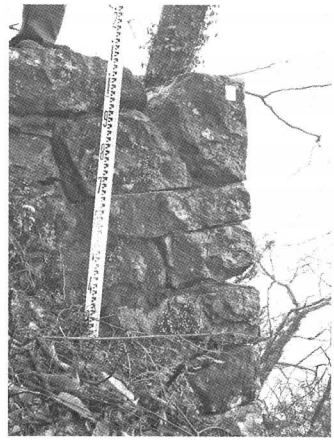
破損の要因と破損状況

略図



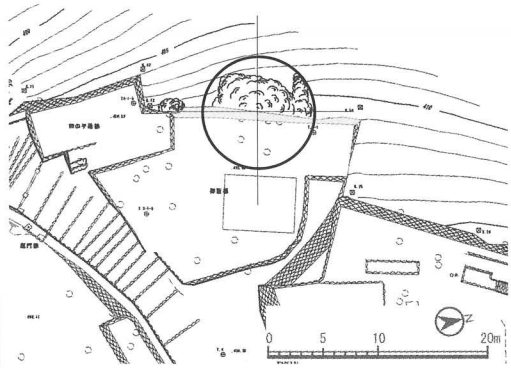
左変曲点

右変曲点



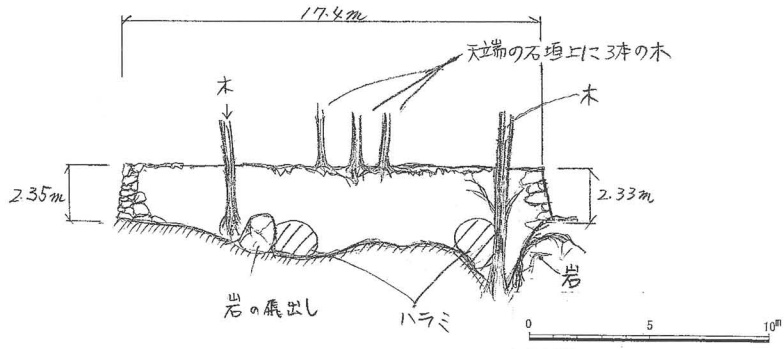
石垣番号	km_078	地区名	小松山城跡	曲輪名	御膳棚
石垣部位	郭				
角の形状	右	出角			
	左	出角			
石垣延長	天端 17.40		下端 18.10		
石垣高さ	左 2.35		右 2.33		
	最高 4.65		最高点位置 右 1.20		
石垣勾配	左 0.30		右 0.20		
	最高地点 0.30				
地盤状況	岩・斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ・ハラミ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



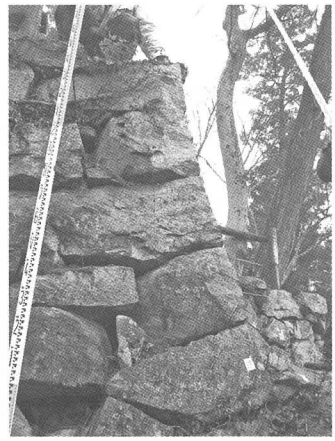
特記事項	下半がうねった状態。算木積（高）。整形の石(1m×0.5)はあまり見られない。縦横同規模の石が多い。0.5m程度。飛び出した岩が崩壊した場合、石垣崩落の危険性あり。露岩上に築造かつ、露岩を組込む。

破損の要因と破損状況	略図
・石垣面の樹木の影響などにより、ズレ、ハラミがみられる。	



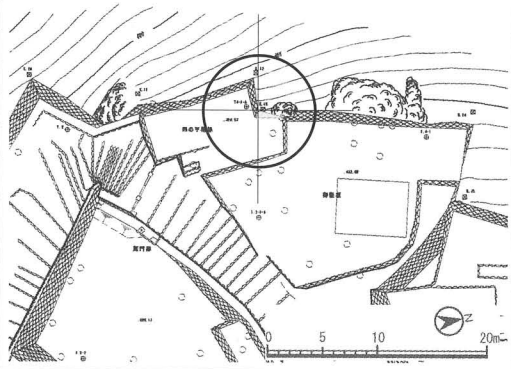
左変曲点

右変曲点

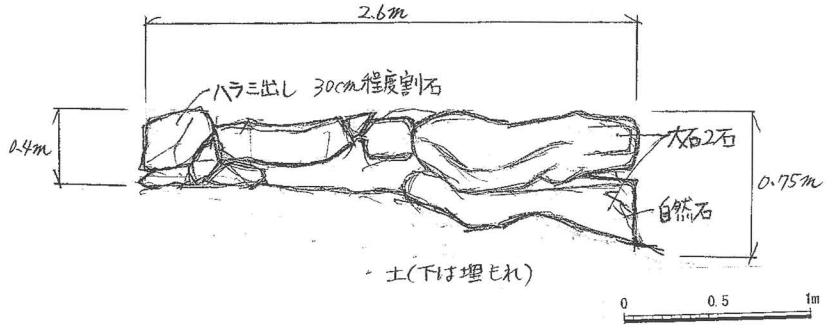


石垣番号	km_079	地区名	小松山城跡	曲輪名	御膳棚
石垣部位	櫓台				
角の形状	右	入角			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 2.60		下端 2.60		
石垣高さ	左 0.40		右 0.75		
	最高 0.75		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.00		右 0.10		
	最高地点 0.10				
地盤状況	岩・斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ・小ハラミ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	上部２石のみ（下はうもれる？）。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

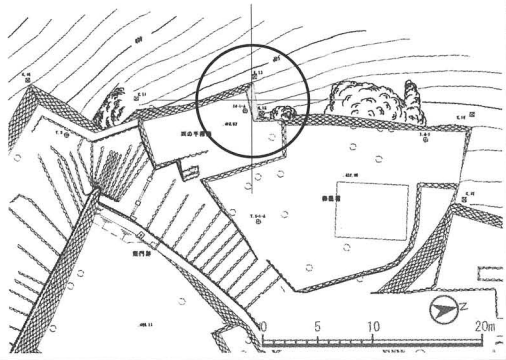


破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、小ハラミがみられる。	

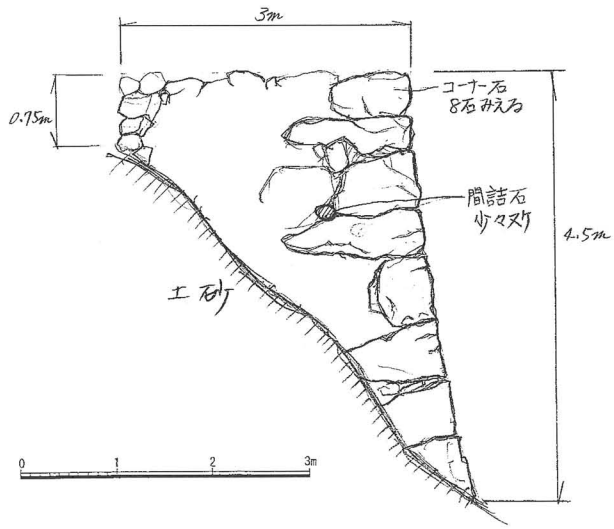


全景写真１

石垣番号	km_080	地区名	小松山城跡	曲輪名	御膳棚
石垣部位	櫓台			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	出角			
	左	入角			
石垣延長	天端 3.00		下端 4.50		
石垣高さ	左 0.75		右 3.59		
	最高 3.59		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.10		右 0.25		
	最高地点 0.25				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	算木積（低）。間詰石のヌケ。				



破損の要因と破損状況	略図

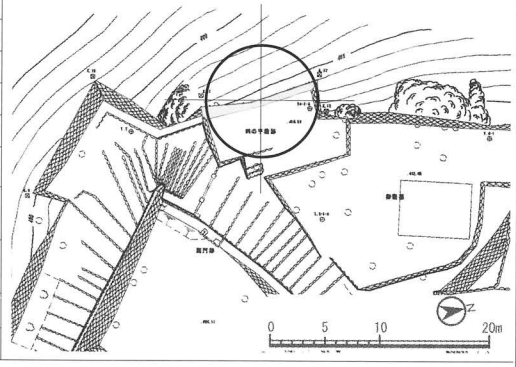


左変曲点

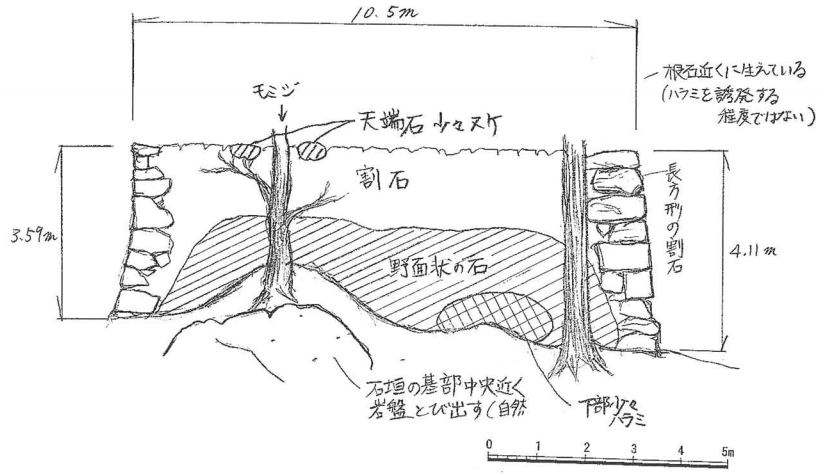
右変曲点

石垣番号	km_081	地区名	小松山城跡	曲輪名	御膳棚
石垣部位	櫓台				
角の形状	右	出角			
	左	出角			
石垣延長	天端 10.50		下端 11.30		
石垣高さ	左 3.59		右 4.11		
	最高 4.11		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.25		右 0.35		
	最高地点 0.35				
地盤状況	岩				
石材種別	野面石・割石				
石積工法	野面積・乱積・打込ハギ・乱積				
石垣現状	小ハラミ・天端石の欠落				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	右側根石近くに木が一本ある。崩落の危険なし。算木積（低）				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

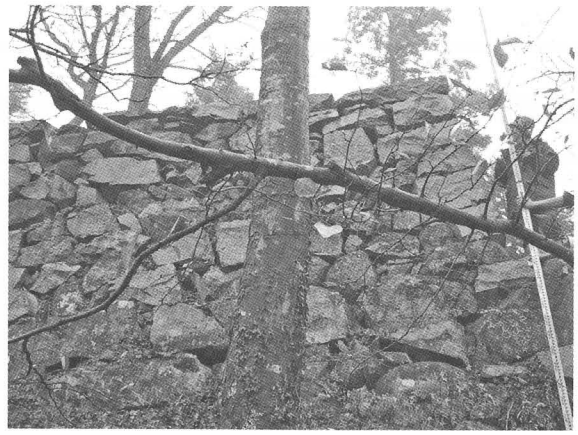


破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、小ハラミがみられる。 ・石垣前面の樹木の影響などにより、小ハラミがみられる。	



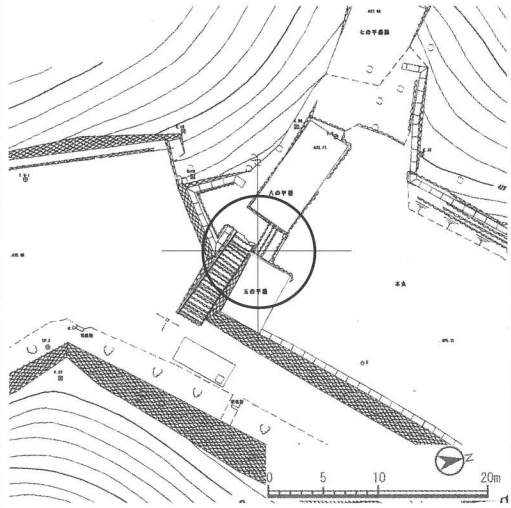
左変曲点

右変曲点

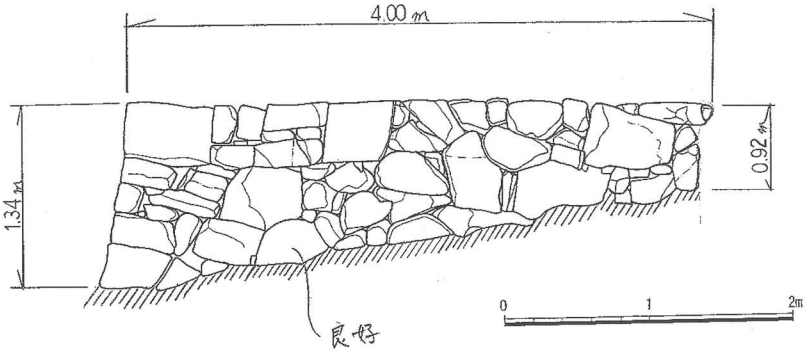


石垣番号	km_082	地区名	小松山城跡	曲輪名	二の丸
石垣部位	郭				
角の形状	右	すり付け			
	左	出角			
石垣延長	天端 4.00		下端 4.20		
石垣高さ	左 1.34		右 0.83		
	最高 1.34		最高点位置 左		
石垣勾配	左 0.15		右 0.10		
	最高地点 0.15				
地盤状況	平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項					

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



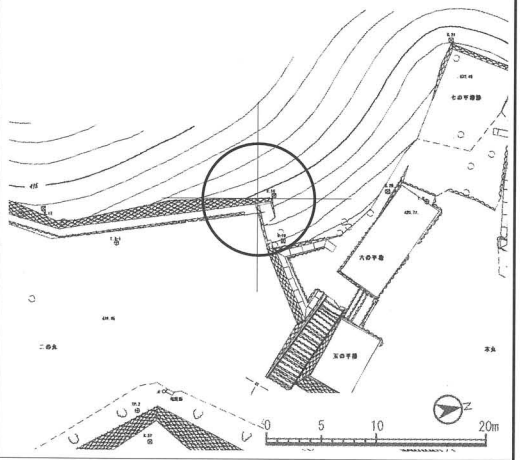
破損の要因と破損状況	略図



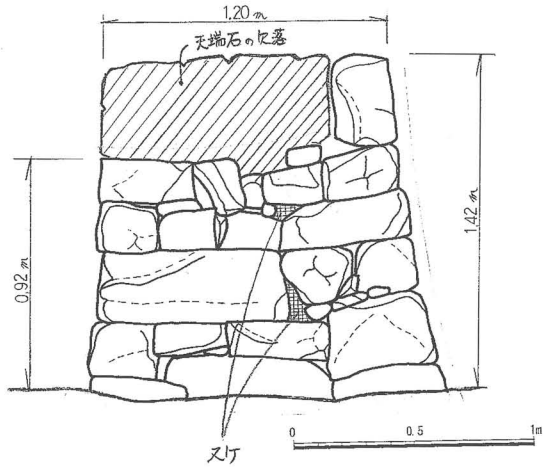
全景写真１

石垣番号	km_083	地区名	小松山城跡	曲輪名	二の丸
石垣部位	郭				
角の形状	右	出角			
	左	すり付け・出角			
石垣延長	天端 1.20		下端 1.42		
石垣高さ	左 0.92		右 1.00		
	最高 1.00		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.12		右 0.12		
	最高地点 0.12				
地盤状況	斜面・石垣85				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・布積				
石垣現状	良好・天端石の欠落				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	安定している（上部はかつて土塀？）。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



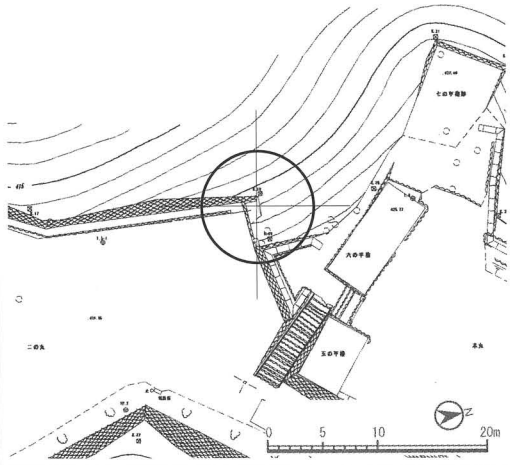
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、カケがみられる。	



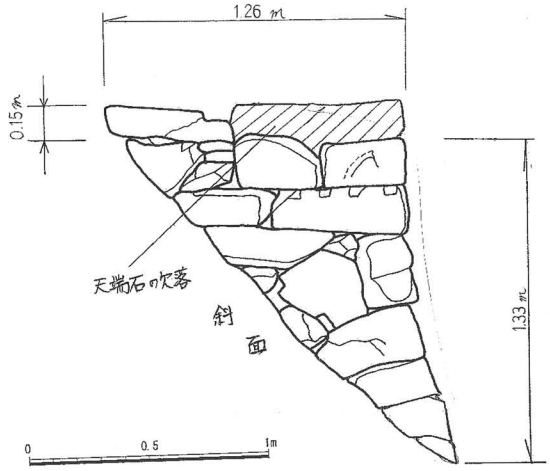
全景写真1

石垣番号	km_084	地区名	小松山城跡	曲輪名	二の丸
石垣部位	郭				
角の形状	右	出角			
	左	すり付け・土			
石垣延長	天端 1.07		下端 1.70		
石垣高さ	左 0.15		右 1.33		
	最高 1.33		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.00		右 0.08		
	最高地点 0.08				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・布積				
石垣現状	ヌケ・天端石の欠落				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	土砂で隅角部しか見えず、安定している。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



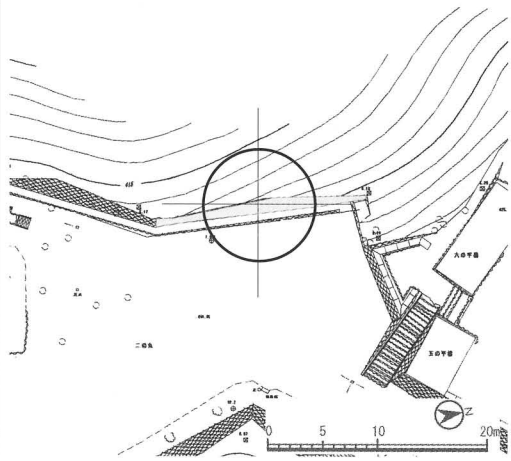
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、カケがみられる。	



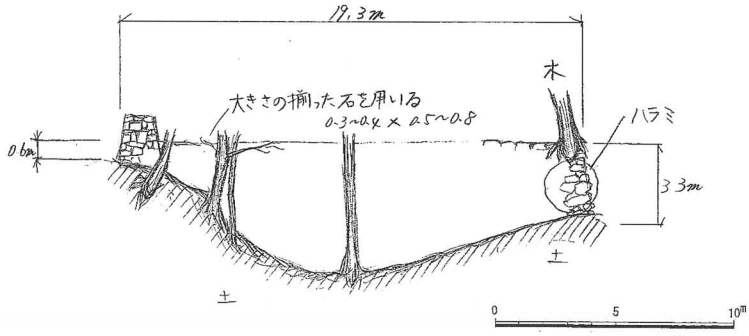
全景写真1

石垣番号	km_085	地区名	小松山城跡	曲輪名	二の丸
石垣部位	郭				
角の形状	右	すり付け			
	左	出角			
石垣延長	天端 19.3		下端 19.3		
石垣高さ	左 0.60		右 3.30		
	最高 5.48		最高点位置 右 7.80		
石垣勾配	左 0.00		右 0.25		
	最高地点 0.35				
地盤状況	斜面・岩				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	小ハラミ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	安定している。ほとんど直に積んでいる。上部はかつて塀。現在は崩落の危険ないが、樹木が枯れた場合等、崩落の危険あり。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況	略図
・石垣面の樹木の影響などにより、小ハラミがみられる。	

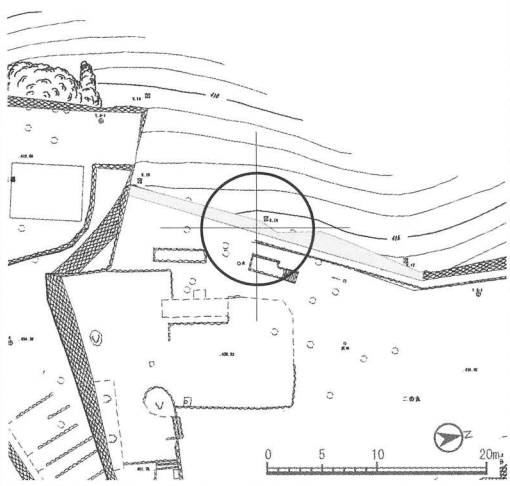


左変曲点

右変曲点

石垣番号	km_086	地区名	小松山城跡	曲輪名	二の丸
石垣部位	郭				
角の形状	右	出角			
	左	すり付け・85石垣に続く			
石垣延長	天端 29.20		下端 30.20		
石垣高さ	左 3.30		右 4.80		
	最高 4.91		最高点位置 左 7.70		
石垣勾配	左 0.25		右 0.20		
	最高地点 0.35				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積・切込ハギ				
石垣現状	ハラミ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

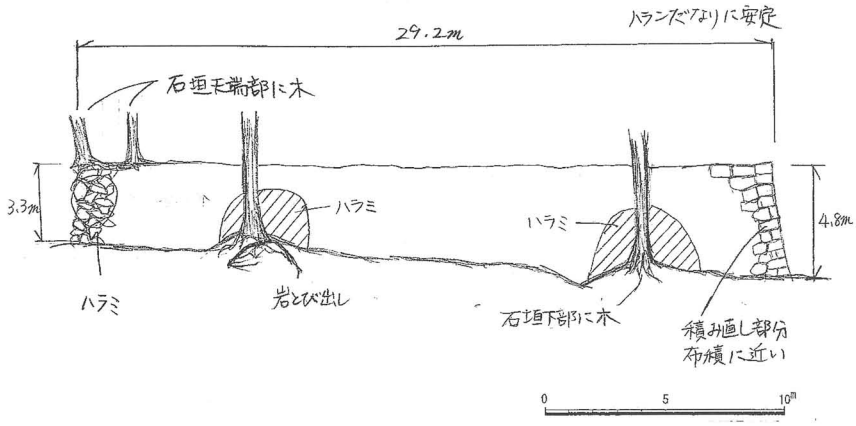


特記事項	全体にうねったようにハラム。積み方は垂直に近い。上部はかつて塀。はらんだなりに安定。右端昭和58年、平成３年修理。崩落の危険なしだが、左端の木の生長、ハラミ出しの前の木が枯れた場合、崩落の危険あり。

破損の要因と破損状況

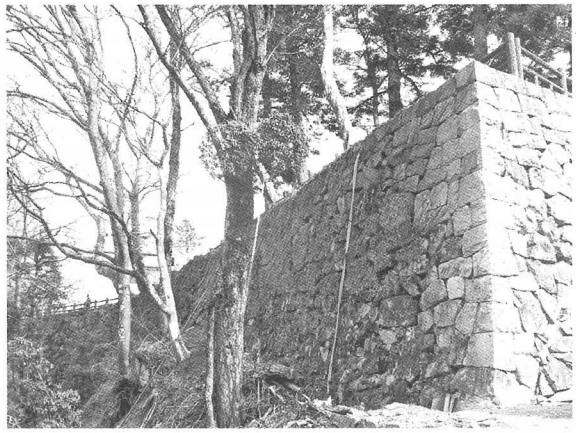
- 石垣天端の樹木の影響などにより、ハラミがみられる。
- 石垣前面の樹木の影響などにより、ハラミがみられる。

略図



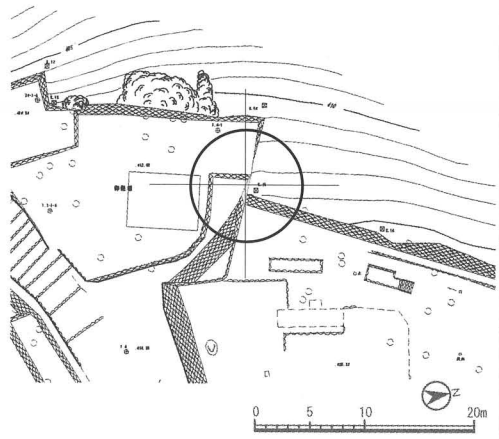
左変曲点

右変曲点

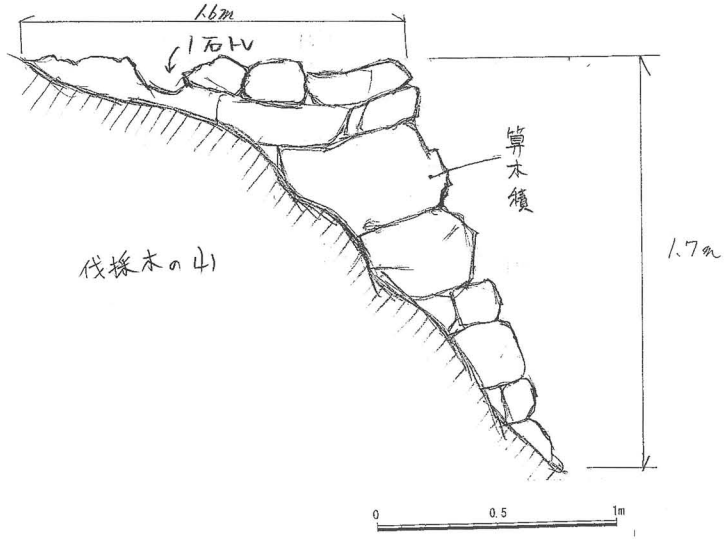


石垣番号	km_087	地区名	小松山城跡	曲輪名	二の丸
石垣部位	郭				
角の形状	右	出角			
	左	86石垣にすりつけ。又は入る。			
石垣延長	天端 1.60		下端 2.30		
石垣高さ	左 0.00		右 1.70		
	最高 1.70		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.00		右 0.20		
	最高地点 0.20				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好・天端石の欠落				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	安定している（右出角しか見えないが）。算木積（低）				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、カケがみられる。	

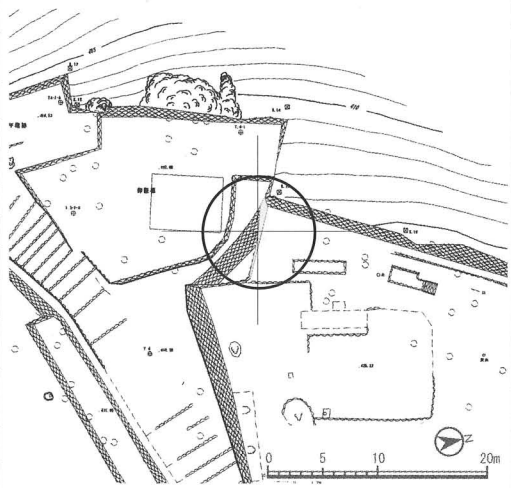


左変曲点

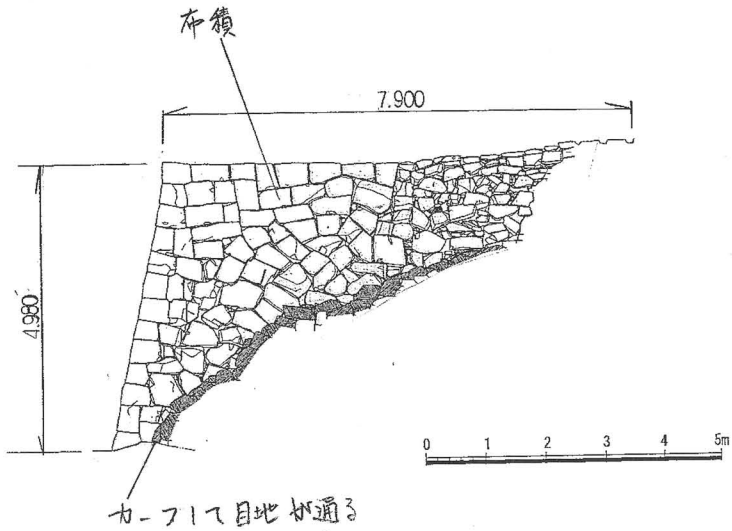
右変曲点

石垣番号	km_088	地区名	小松山城跡	曲輪名	二の丸
石垣部位	郭				
角の形状	右	入角			
	左	出角			
石垣延長	天端 7.90		下端 9.70		
石垣高さ	左 4.98		右 0.73		
	最高 4.98		最高点位置 左		
石垣勾配	左 0.12		右 0.12		
	最高地点 0.12				
地盤状況	石垣上？				
石材種別	割石				
石積工法	切込ハギ・打込ハギ・布積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	算木積（高）。布積（他と積み方異なる）昭和58年、H３年積み直し（隅角の崩落により）。				

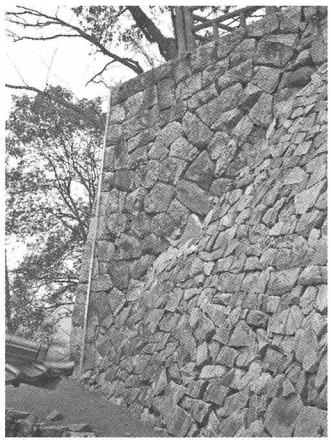
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



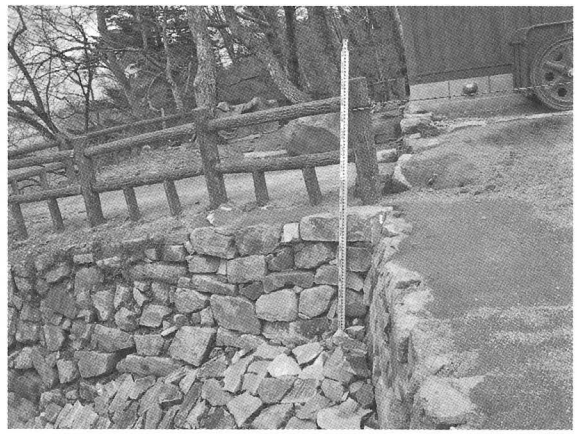
破損の要因と破損状況	略図



左変曲点

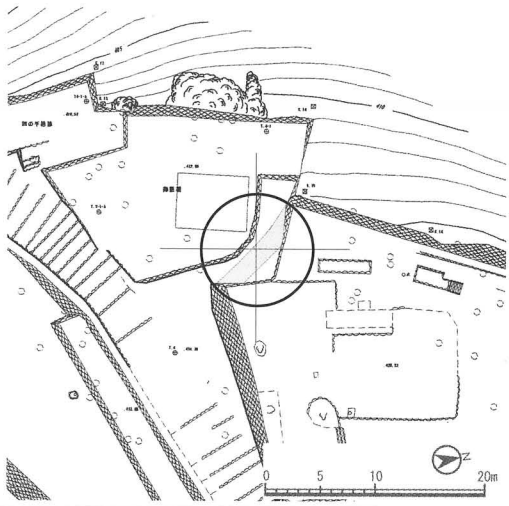


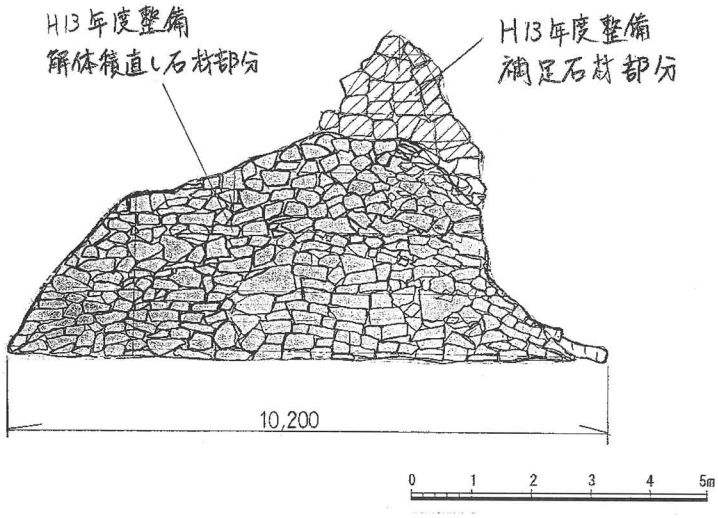
右変曲点



石垣番号	km_089	地区名	小松山城跡	曲輪名	二の丸
石垣部位	土留				
角の形状	右	すり付け			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 4.30		下端 10.20		
石垣高さ	左 0.00		右 0.20		
	最高 4.41		最高点位置 左 1.80		
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.20				
地盤状況	石垣上				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	H13年修理。石垣というより張石（88，90の入角部の土留）。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

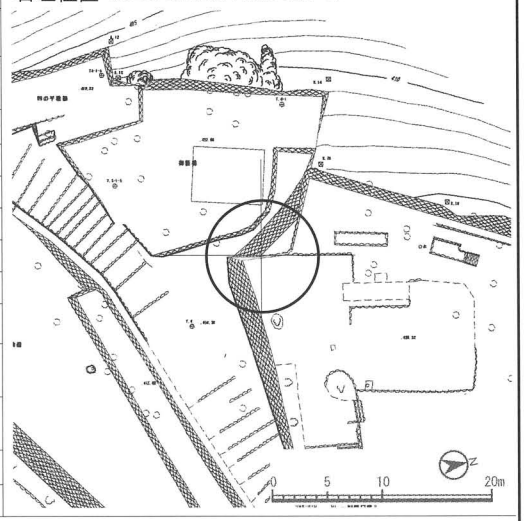


破損の要因と破損状況	略図
	

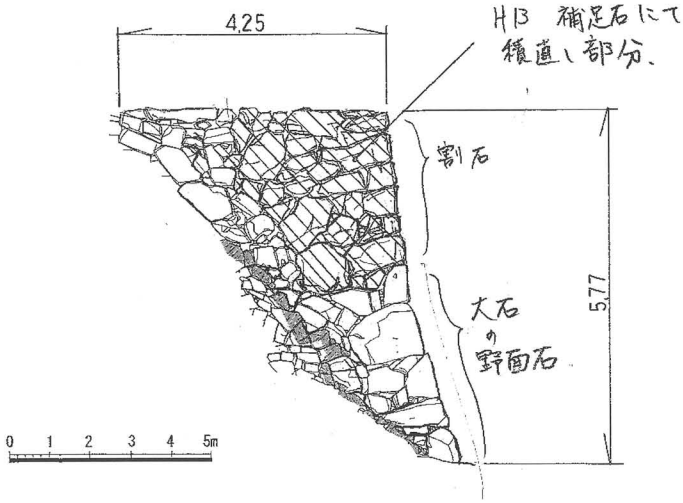
全景写真1

石垣番号	km_090	地区名	小松山城跡	曲輪名	二の丸
石垣部位	郭				
角の形状	右	出角			
	左	入角			
石垣延長	天端 4.25		下端 8.10		
石垣高さ	左 0.73		右 5.77		
	最高 5.77		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.20		右 0.12		
	最高地点 0.12				
地盤状況	石垣上？				
石材種別	野面石・割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	H13年修理。算木積（高）。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況	略図

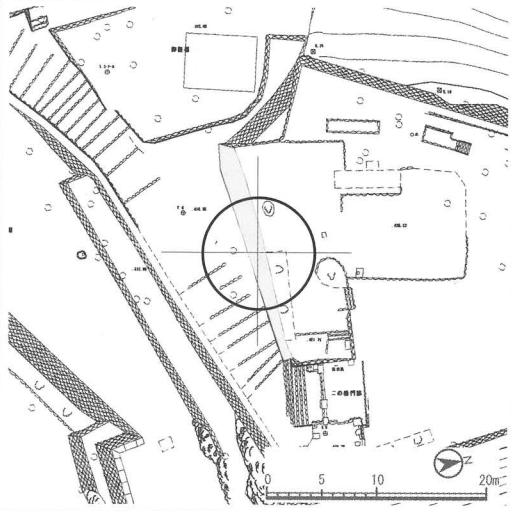


左変曲点

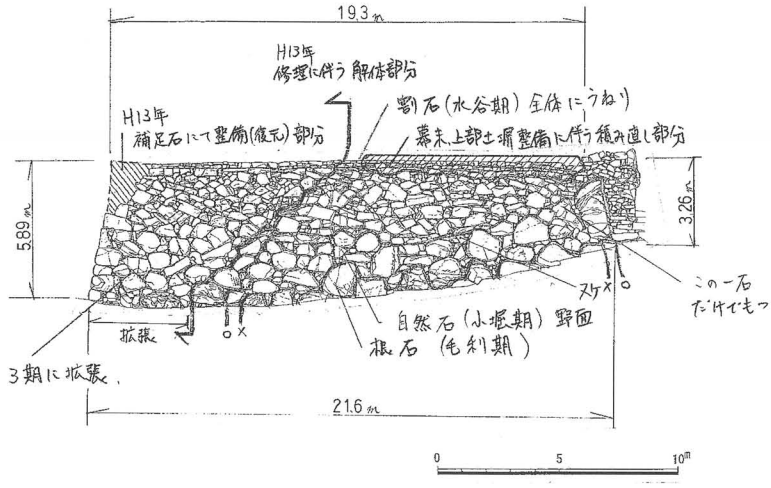
全景写真1

石垣番号	km_091	地区名	小松山城跡	曲輪名	二の丸
石垣部位	郭				
角の形状	右	出角			
	左	出角			
石垣延長	天端 19.30		下端 21.60		
石垣高さ	左 5.89		右 3.26		
	最高 6.13		最高点位置 左 1.90		
石垣勾配	左 0.30		右 0.32		
	最高地点 0.30				
地盤状況	斜面				
石材種別	野面石・割石				
石積工法	野面積・乱積・打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好・小ハラミ				
構築年代	Ⅰ～Ⅴ期				
危険度	B				
特記事項	左はH13年修理。3期の石垣普請。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、小ハラミがみられる。	

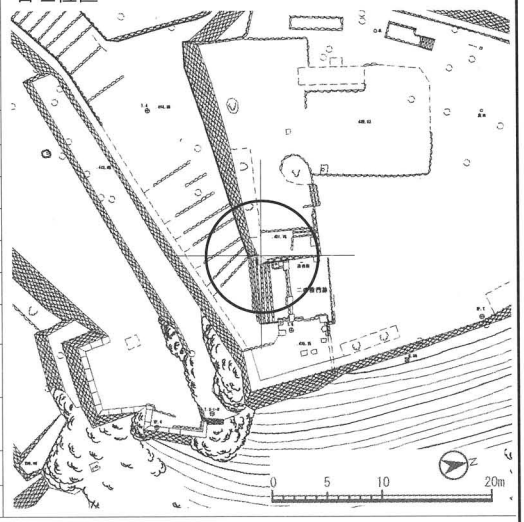


左変曲点

右変曲点

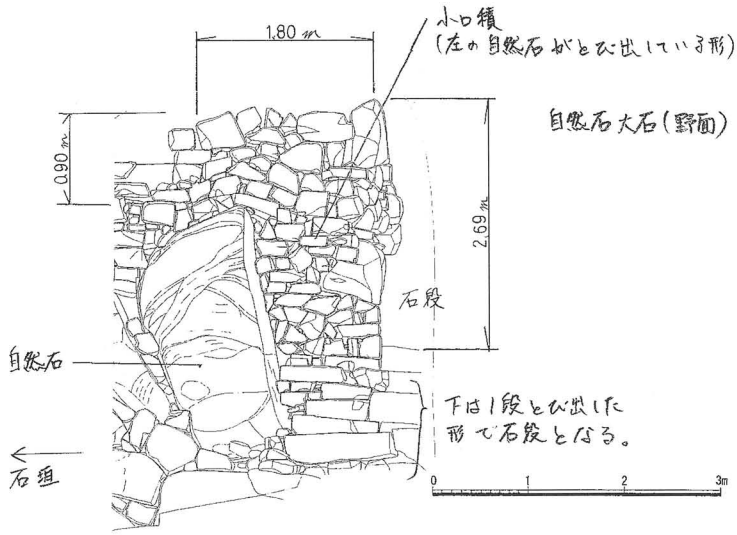
石垣番号	km_092	地区名	小松山城跡	曲輪名	二の丸
石垣部位	郭				
角の形状	右	出角			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 1.80		下端 1.01		
石垣高さ	左 0.90		右 2.69		
	最高 2.69		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.00		右 0.15		
	最高地点 0.15				
地盤状況	平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ				
構築年代	その他・Ⅲ期				
危険度	A				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

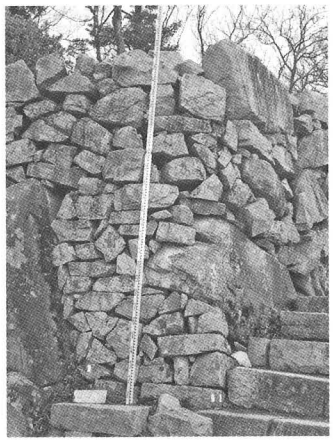


特記事項	km91の延長として後世に継ぎ足したもの。0.3m程度の小石を用いる。安定性に欠ける積み方。露岩の組込。

破損の要因と破損状況	略図
・露岩と築石面の不整合などにより、ズレがみられる。	

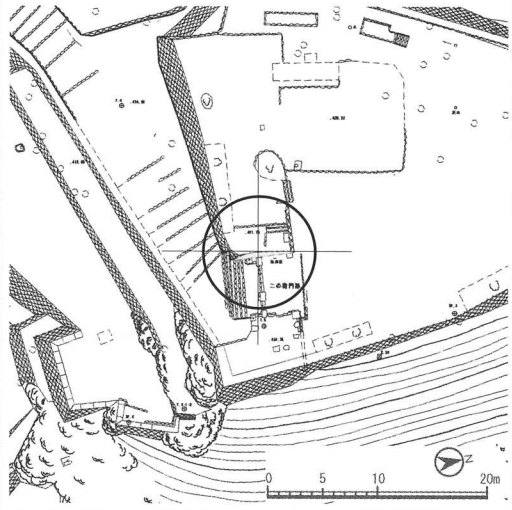


全景写真1

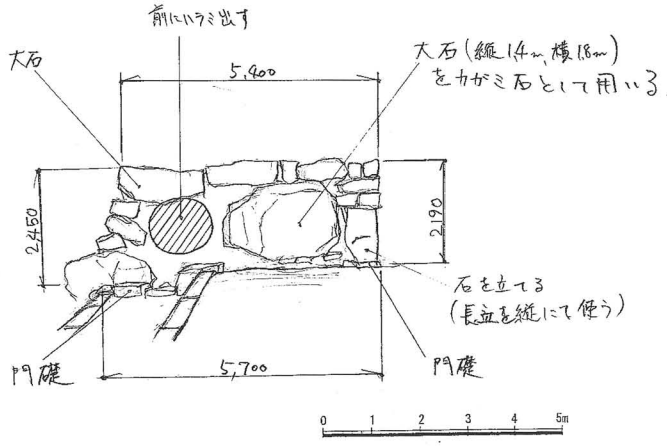


石垣番号	km_093	地区名	小松山城跡	曲輪名	二の丸
石垣部位	門				
角の形状	右	出角			
	左	出角			
石垣延長	天端 5.40		下端 5.70		
石垣高さ	左 2.45		右 2.19		
	最高 2.45		最高点位置 左		
石垣勾配	左 0.25		右 0.05		
	最高地点 0.25				
地盤状況	平坦面・一部石段				
石材種別	野面石・割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	小ハラミ・ズレ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	比較的大きな石を用いる。特に門部分は鏡石のように巨大な石を用いた鏡積あり。				

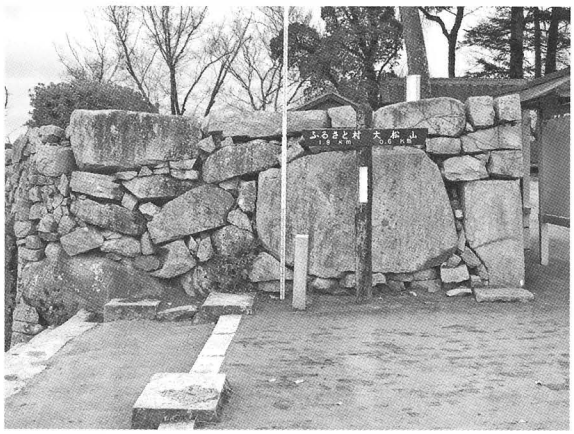
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、小ハラミがみられる。	

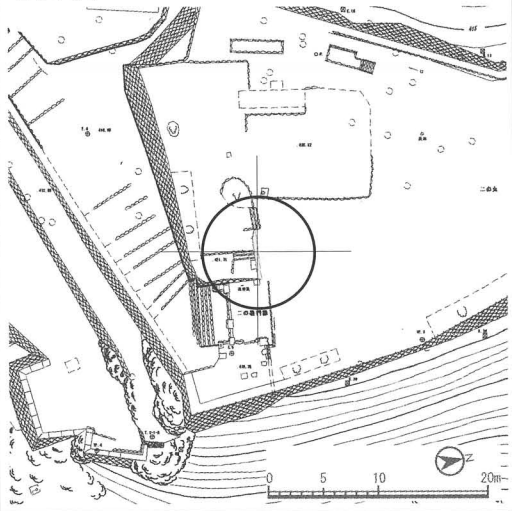


全景写真1



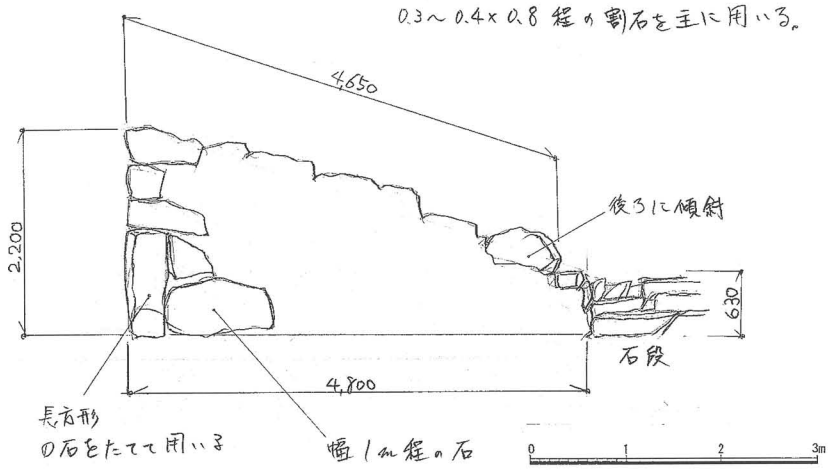
石垣番号	km_094	地区名	小松山城跡	曲輪名	二の丸
石垣部位	門				
角の形状	右	すり付け			
	左	出角・石段			
石垣延長	天端 4.65		下端 4.80		
石垣高さ	左 2.20		右 0.63		
	最高 2.20		最高点位置 左		
石垣勾配	左 0.05		右 0.00		
	最高地点 0.05				
地盤状況	土				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	安定している。崩落の危険なし。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

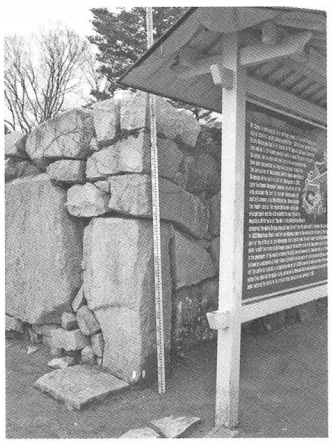


破損の要因と破損状況

略図



左変曲点



右変曲点